

**PA700S\_PA700X\_PA700W**

**PS502X\_PS502W**

プロジェクター  
ユーザーガイド

**ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。**

ViewSonic® は技術進化、技術革新、簡略化において世界の期待を超えるビジュアルソリューションを提供し続けております。ViewSonic® は世界にインパクトを与える必ずお客様にご満足いただける ViewSonic® 製品をお届けします。

このたびは、ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

# 安全のためのご注意 - 全般

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶつけたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。

- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100～240Vの電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10Vのサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店または ViewSonic® にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



**注意：**この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2 IEC 62471-5:2015

# 安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

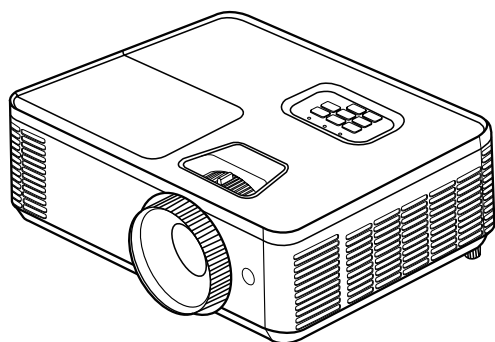
# 目次

安全のためのご注意 - 全般 .....	3
安全のためのご注意 - 天井取り付け .....	5
はじめに .....	8
梱包の内容 - PA700S   PA700X   PA700W .....	8
梱包の内容 - PS502X   PS502W .....	9
各部の名称 .....	10
プロジェクター .....	10
キーパッド .....	11
インジケータライト .....	12
入出力ポート .....	13
リモコン .....	14
セットアップ .....	18
場所の選択 - 投影方向 .....	18
投影寸法 - PA700S   PA700X .....	19
投影寸法 - PA700W .....	21
投影寸法 - PS502X .....	23
投影寸法 - PS502W .....	25
プロジェクターの取り付け .....	27
セキュリティバーの使用 .....	27
本体の接続 .....	28
電源との接続 .....	28
外付け機器への接続 .....	29
HDMI接続 .....	29
オーディオ接続 .....	30
USBタイプA接続 .....	31
RS-232接続 .....	32
デスクトップパソコン/ノートパソコンとモニターの接続 .....	33
プロジェクターの使用方法 .....	34
プロジェクターを起動する .....	34
入力ソースを選択する .....	35
Help Menu（ヘルプメニュー） .....	36
投影画像を調整する .....	39
プロジェクターの高さと投影角度を調整する .....	39

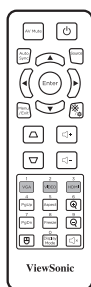
フォーカス、キーストーン、ズームの調整 .....	40
プロジェクターをシャットダウンする .....	41
<b>プロジェクターを操作する.....</b>	<b>42</b>
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー .....	42
メニューナビゲーション .....	43
メインメニュー構成 .....	44
メニュー操作 .....	49
Image Menu（画像メニュー） .....	49
Display Menu（ディスプレイメニュー） .....	51
Setup Menu（セットアップメニュー） .....	54
Options Menu（オプションメニュー） .....	56
<b>付録 .....</b>	<b>59</b>
仕様 - PA700 .....	59
仕様 - PS502 .....	60
プロジェクターの寸法 .....	61
タイミングチャート .....	62
アナログRGB .....	62
HDMI 3D .....	64
トラブルシューティング .....	65
LEDインジケーター .....	67
メンテナンス .....	68
お手入れの際の注意 .....	68
レンズを清掃する .....	68
ケースのお手入れ .....	68
プロジェクターを保管する .....	68
<b>規制および補修情報 .....</b>	<b>69</b>
コンプライアンス情報 .....	69
FCC 準拠宣言 .....	69
Industry Canada Statement .....	69
ヨーロッパ諸国における CE 準拠 .....	69
RoHS2 準拠宣言 .....	70
インドの有害物質に関する制限 .....	71
廃棄処分について .....	71
著作権情報 .....	72
カスタマーサービス .....	73
限定保証 .....	74

# はじめに

## 梱包の内容 - PA700S | PA700X | PA700W



①



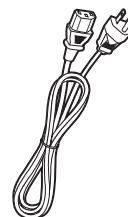
②



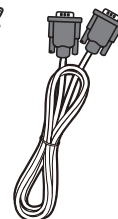
③



④



⑤



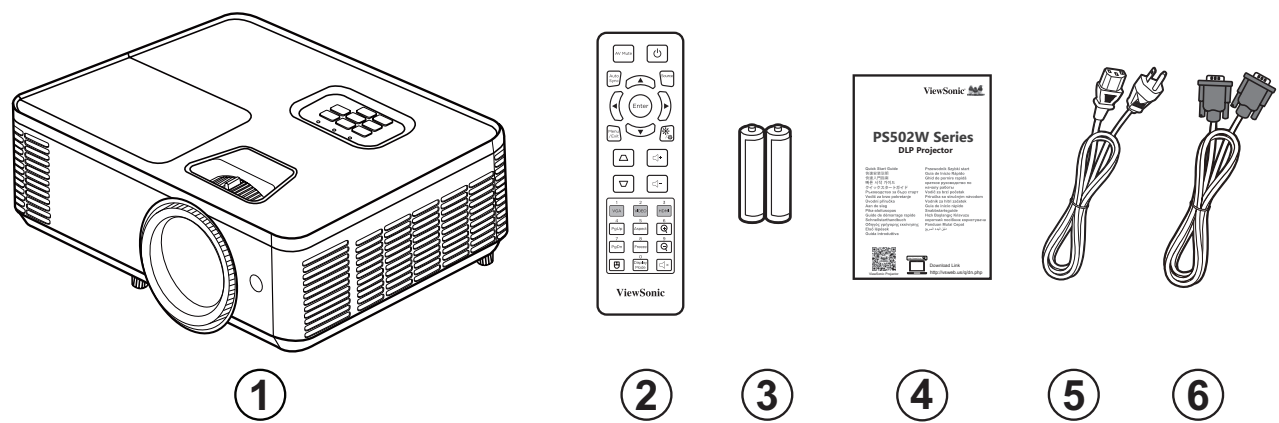
⑥

数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード
6	VGAケーブル

**注記：** 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。



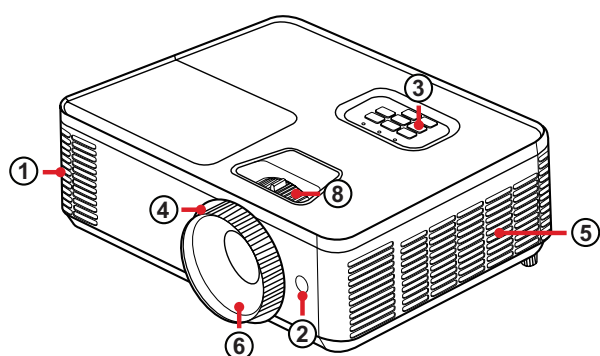
# 梱包の内容 - PS502X | PS502W



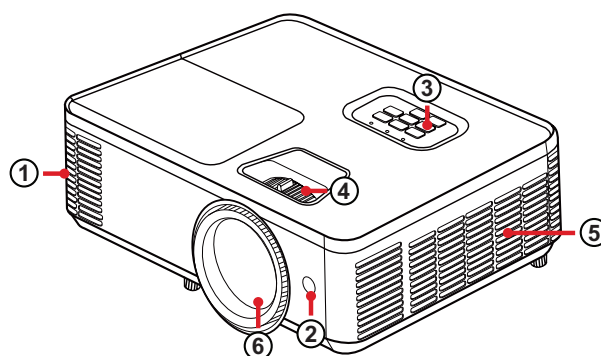
数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード
6	VGAケーブル

**注記：** 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

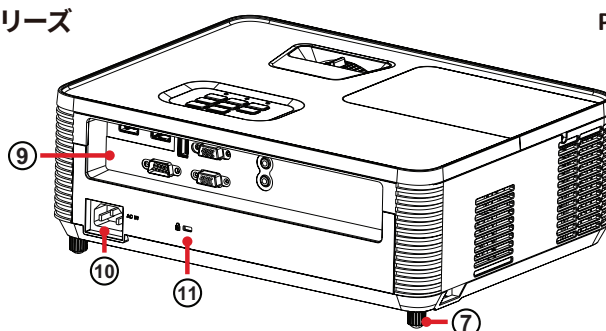
# 各部の名称 プロジェクター



PA700シリーズ



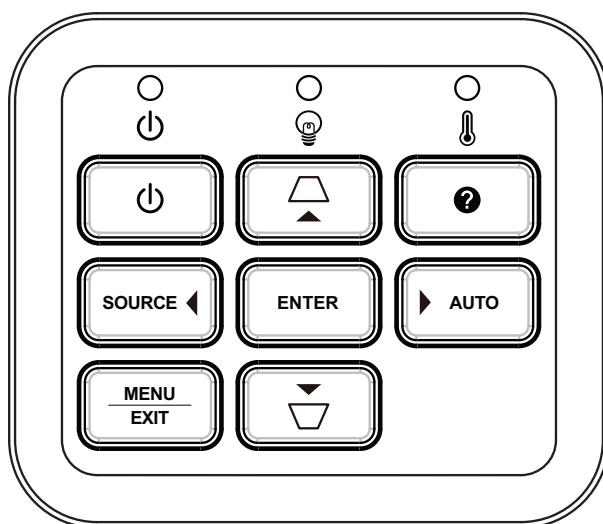
PS502シリーズ



数	詳細
1	通気口 (排気)
2	IRレシーバー
3	キーパッド
4	フォーカスリング
5	通気口 (吸気)
6	投影レンズ
7	アジャスターフット
8	ズームリング
9	入出力ポート
10	AC入力
11	セキュリティロック

**注記：** プロジェクターの通気口 (吸気) および通気口 (吸気) を塞がないでください。

## キーパッド

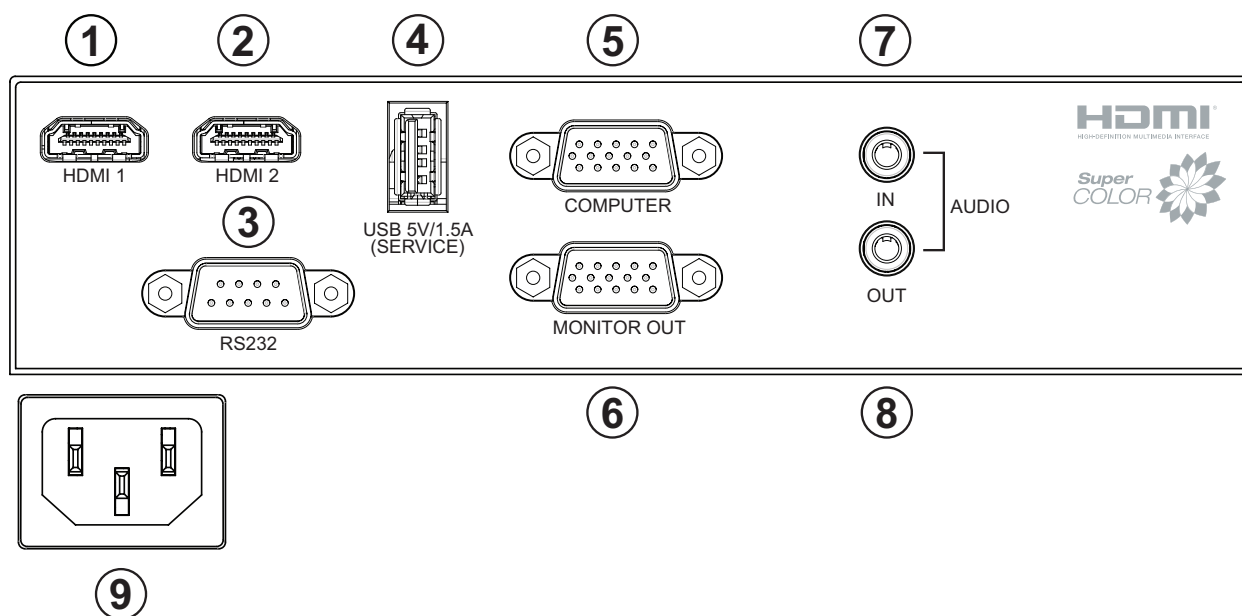


ボタン		詳細
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
⏏	キーストーン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になっているときに、投影の角度から生じる画像の歪みを手動で修正します。
◀▶▲▼	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
MENU EXIT	メニュー/終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを有効にします。</li> <li>• OSDメニューの前のレベルに戻ります。</li> <li>• メニュー設定を終了して保存します。</li> </ul>
SOURCE	ソース	次の入力ソースに切り替えます。
?	ヘルプ	Help (ヘルプ) メニューを表示します。
ENTER	入力	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になったら、選択を確定します。
AUTO	自動	プロジェクターを入力ソースに自動的に同期します。

## インジケータライト

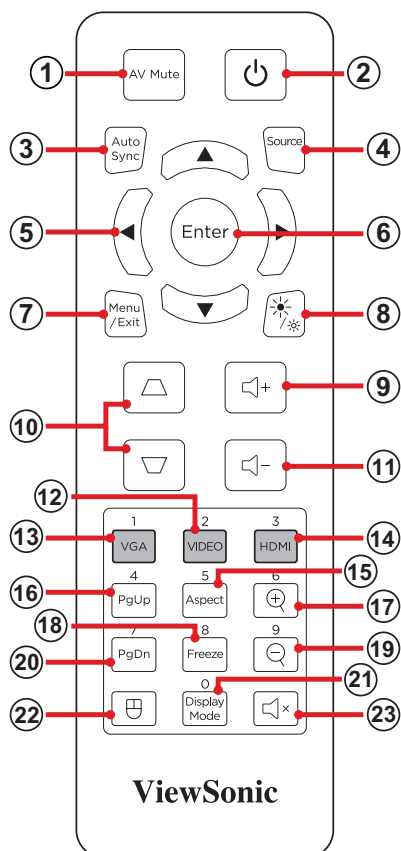
インジケータ ライト	詳細
	電源インジケータライト
	光源インジケータライト
	温度インジケータライト

## 入出力ポート

















ポート		詳細
1	HDMI 1	HDMIポート。
2	HDMI 2	HDMIポート。
3	RS-232	RS-232制御ポート。
4	USB (5V/1.5A出力) (サービス)	電源とサービスのためのUSBタイプAポート。
5	コンピュータ	RGB (PC) 信号入力ソケット。
6	モニター出力	RGB (PC) 信号出力ソケット。
7	音声入力	音声信号入力ソケット
8	音声出力	音声信号出力ソケット。
9	AC入力	AC入力ソケット。

# リモコン



ボタン		詳細	
1	AVミュート		画面画像の非表示/表示を切り替え、音量をミュートします。
2	電源		プロジェクターをオンまたはオフにします
3	自動同期		プロジェクターを入力ソースに自動的に同期します。
4	ソース		次の入力ソースに切り替えます。
5	ナビゲーションボタン		オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になっているときに、目的のメニュー項目に移動して選択し、調整を行います。
6	入力		オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが有効になったら、選択を確定します。
7	メニュー/終了		<ul style="list-style-type: none"> <li>• オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。</li> <li>• 前のOSDメニューに戻ります。</li> <li>• メニュー設定を終了して保存します。</li> </ul>
8	輝度		輝度選択バーを表示します。
9	音量(上)		音量レベルを上げます

ボタン			詳細
10	キーストーン		歪んだ画像を手動で修正します。
11	音量(下)		音量レベルを下げます
12	ビデオ		サポートされていないボタン
13	VGA		ディスプレイ用のComputer IN (コンピュータ入力) ポートを選択します。
14	HDMI		HDMI 1またはHDMI 2入力ソースを選択します。
15	アスペクト		フォーマット選択バーを表示します。
16	ページ(上)		ページ(上) コマンド (Microsoft PowerPointなど) に応答するディスプレイソフトウェアプログラム (接続されたPC上) を操作します。 <b>注記:</b> PC入力ソースが選択され、PCとプロジェクターがUSB経由で接続されている場合にのみ使用できます。
17	ズームイン		投影される画像サイズを大きくします。
18	フリーズ		投影される画像をフリーズ/フリーズ解除します。
19	ズームアウト		投影される画像サイズを小さくします。
20	ページ(下)		ページ(下) コマンド (Microsoft PowerPointなど) に応答するディスプレイソフトウェアプログラム (接続されたPC上) を操作します。 <b>注記:</b> PC入力ソースが選択され、PCとプロジェクターがUSB経由で接続されている場合にのみ使用できます。
21	ディスプレイモード		ディスプレイモード選択バーを表示します。
22	マウスモード		マウス能を有効/無効にします。
23	ミュート		ミュート/ミュート解除します。

## リモコンマウスモードとページ(上/下)機能を使用する

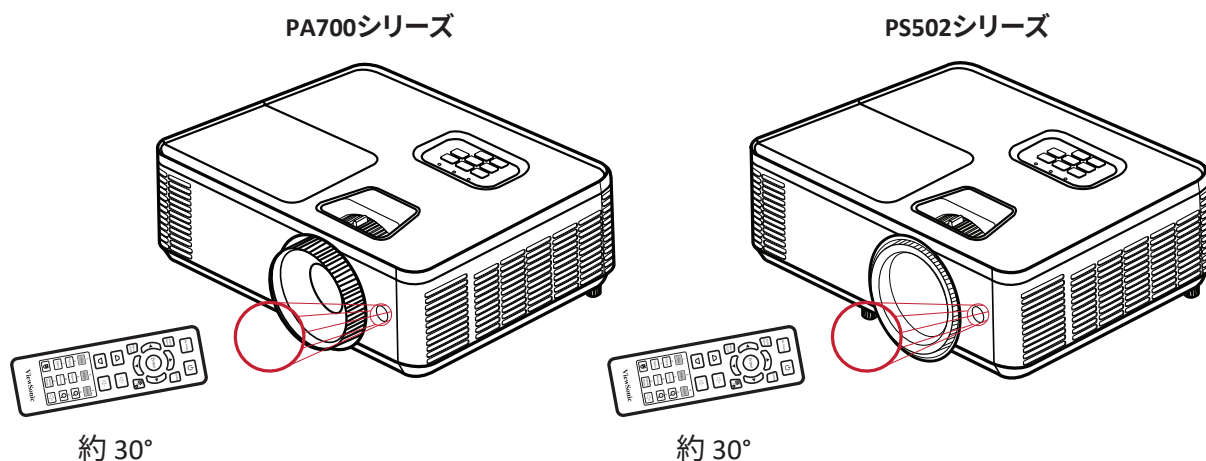
1. **COMPUTER (コンピュータ)** および**USB**ポートを介して、デスクトップパソコン/ノートパソコンをプロジェクターに接続します。
2. 入力ソースをPCに設定します。
3. これで、ページ(上/下) コマンド (Microsoft PowerPointなど) に応答するディスプレイソフトウェアプログラムを操作できます。

## リモコン - 受信機の範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、10 m (32.8フィート) を超えないようにしてください。

**注記：** 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。



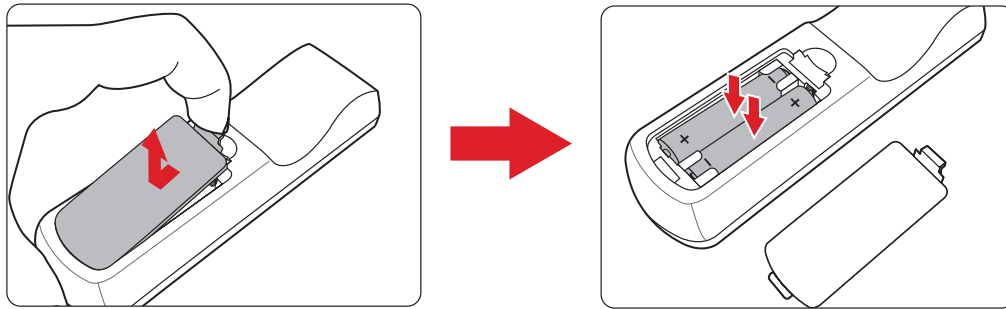


## リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。

**注記：** 表示されているように電池の極性を確認してください。

3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



### 注記：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

# セットアップ

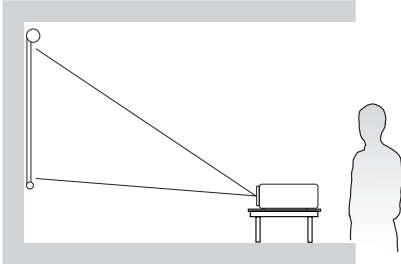
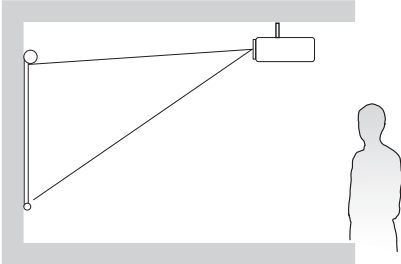
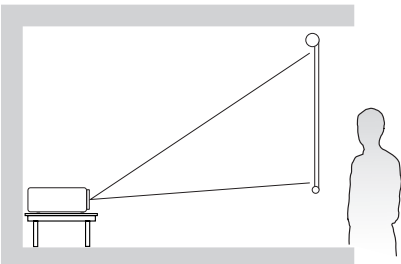
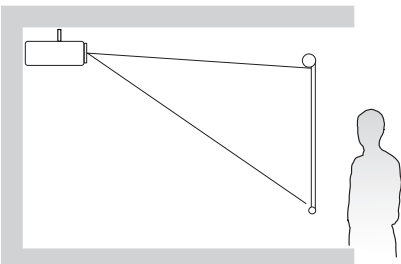
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

## 場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

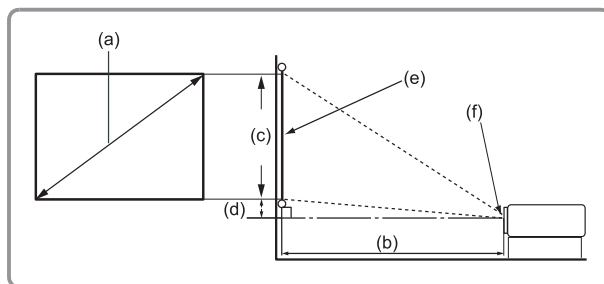
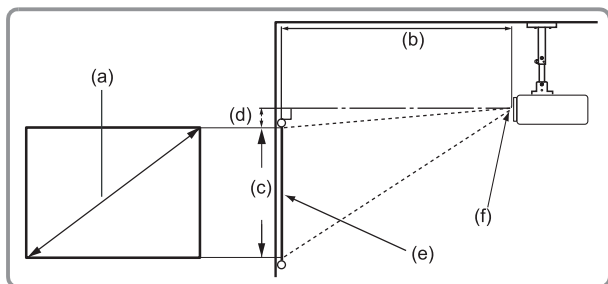
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<b>前面机上</b> プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。	
<b>前面天井</b> プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。	
<b>背面机上<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。	
<b>背面天井<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。	

<sup>1</sup> 背面投影スクリーンが必要です。

# 投影寸法 - PA700S | PA700X

- 4:3スクリーン上の4:3画像



## 注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

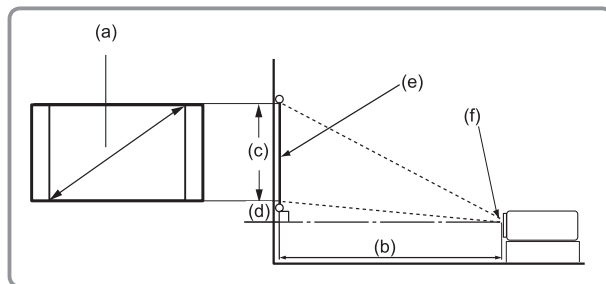
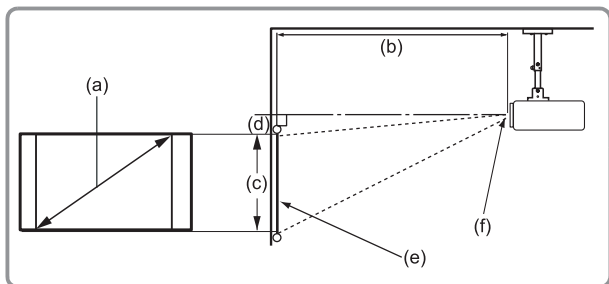
## 4:3スクリーン上の4:3画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
インチ	mm	最小		最大		インチ	mm	インチ	mm
30	762	46.56	1183	51.84	1317	18	457	2.70	69
60	1524	93.12	2365	103.68	2633	36	914	5.40	137
70	1778	108.64	2759	120.96	3072	42	1067	6.30	160
80	2032	124.16	3154	138.24	3511	48	1219	7.20	183
100	2540	155.20	3942	172.80	4389	60	1524	9	229
120	3048	186.24	4730	207.36	5267	72	1829	10.80	274
150	3810	232.80	5913	259.20	6584	90	2286	13.50	343
200	5080	310.40	7884	345.60	8778	120	3048	18	457
250	6350	388	9855	432	10973	150	3810	22.50	572
300	7620	465.60	11826	518.40	13167	180	4572	27	686

## 注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 16:10スクリーン上の4:3画像



注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

16:10スクリーン上の4:3画像

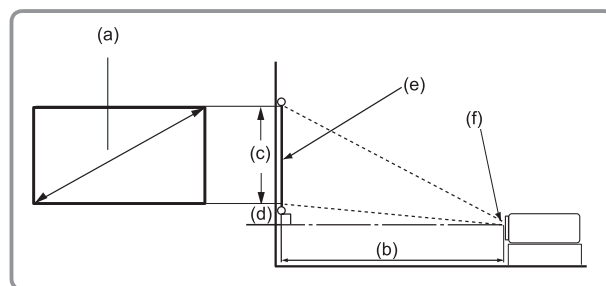
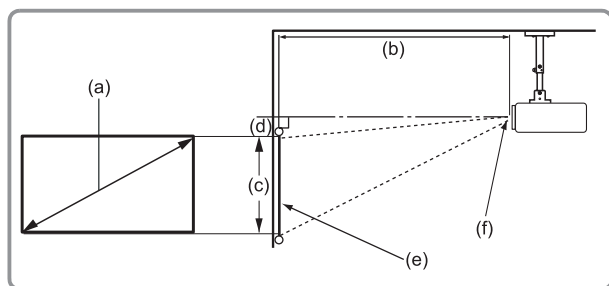
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	41.13	1045	45.79	1163	15.90	404	2.38	61
60	1524	82.26	2089	91.58	2326	31.80	808	4.77	121
70	1778	95.97	2438	106.85	2714	37.10	942	5.56	141
80	2032	109.67	2786	122.11	3102	42.40	1077	6.36	162
100	2540	137.09	3482	152.64	3877	53	1346	7.95	202
120	3048	164.51	4179	183.17	4652	63.60	1615	9.54	242
150	3810	205.64	5223	228.96	5816	79.50	2019	11.92	303
200	5080	274.19	6964	305.28	7754	106	2692	15.90	404
250	6350	342.73	8705	381.60	9693	132.5	3365	19.87	505
300	7620	411.28	10446	457.92	11631	159	4039	23.85	606

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

# 投影寸法 - PA700W

- 16:10スクリーン上の16:10画像



## 注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

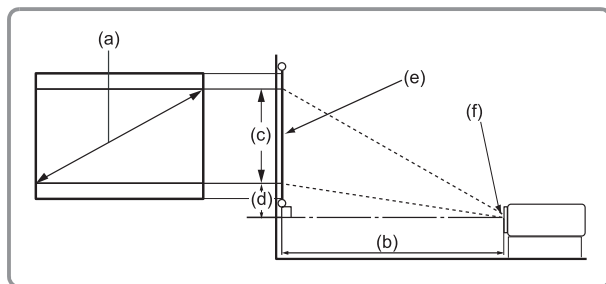
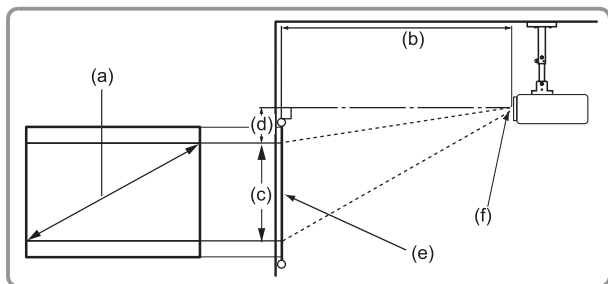
## 16:10スクリーン上の16:10画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	39.20	995	43.80	1111	15.90	404	1.90	48
60	1524	78.36	1990	87.51	2223	31.80	808	3.94	100
80	2032	104.47	2654	116.68	2964	42.40	1077	5.26	134
90	2286	117.53	2985	131.27	3334	47.70	1212	5.91	150
100	2540	130.59	3317	145.86	3705	53	1346	6.57	167
120	3048	156.71	3980	175.03	4446	63.60	1615	7.89	200
150	3810	195.89	4976	218.78	5557	79.50	2019	9.86	250
200	5080	261.18	6634	291.71	7409	106	2692	13.14	334
250	6350	326.48	8293	364.64	9262	132.50	3365	16.43	417
300	7620	391.77	9951	437.57	11114	159	4039	19.70	500

## 注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 4:3スクリーン上の16:10画像



注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

4:3スクリーン上の16:10画像

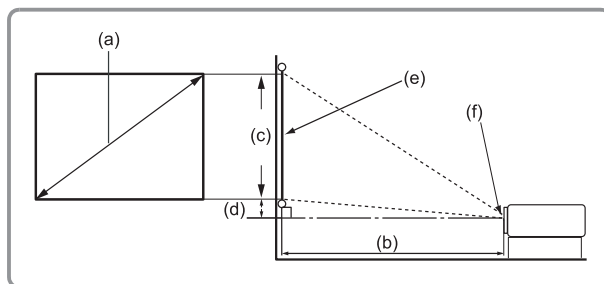
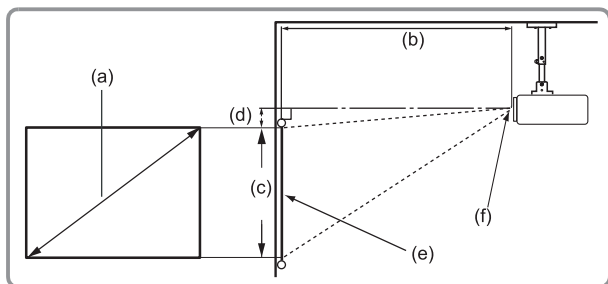
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット	
インチ	mm	最小		最大		インチ	mm	インチ	mm
		インチ	mm	インチ	mm				
30	762	36.90	937	41.30	1049	15	381	1.80	46
60	1524	73.92	1878	82.56	2097	30	762	3.72	94
80	2032	98.56	2503	110.08	2796	40	1016	4.96	126
90	2286	110.88	2816	123.84	3146	45	1143	5.58	142
100	2540	123.20	3129	137.60	3495	50	1270	6.20	157
120	3048	147.84	3755	165.12	4194	60	1524	7.44	189
150	3810	184.80	4694	206.40	5243	75	1905	9.30	236
200	5080	246.40	6259	275.20	6990	100	2540	12.40	315
250	6350	308	7823	344	8738	125	3175	15.50	394
300	7620	369.60	9388	412.80	10485	150	3810	18.60	472

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

# 投影寸法 - PS502X

- 4:3スクリーン上の4:3画像



## 注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

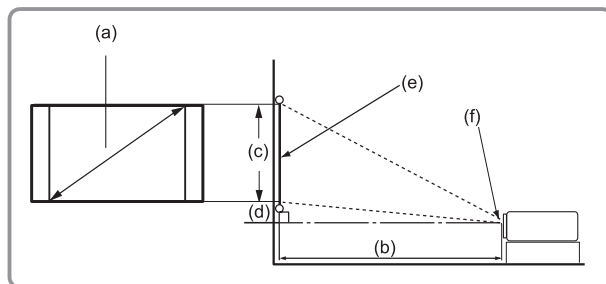
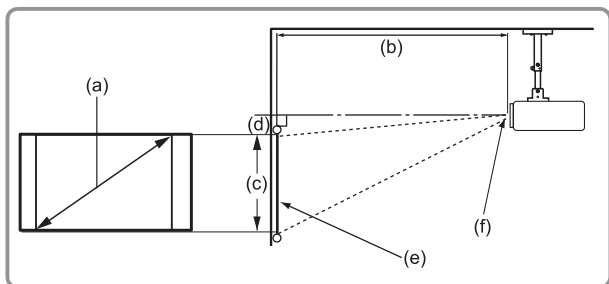
## 4:3スクリーン上の4:3画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
インチ	mm	最小		最大		インチ	mm	インチ	mm
40	1016	19.74	501	19.74	501	24.02	610	3.60	91
60	1524	29.62	752	29.62	752	35.98	914	5.40	137
70	1778	34.55	878	34.55	878	42.01	1067	6.30	160
80	2032	39.49	1003	39.49	1003	47.99	1219	7.20	183
100	2540	49.36	1254	49.36	1254	60	1524	9	229
120	3048	59.23	1504	59.23	1504	72.01	1829	10.80	274
150	3810	74.04	1881	74.04	1881	90	2286	13.50	343
200	5080	98.72	2507	98.72	2507	120	3048	18	457
250	6350	123.40	3134	123.40	3134	150	3810	22.50	572
300	7620	148.08	3761	148.08	3761	180	4572	27	686

## 注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 16:10スクリーン上の4:3画像



注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

16:10スクリーン上の4:3画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
40	1016	17.44	443	17.44	443	21.20	538	3.18	81
60	1524	26.16	664	26.16	664	31.80	808	4.77	121
70	1778	30.52	775	30.52	775	37.10	942	5.56	141
80	2032	34.88	886	34.88	886	42.40	1077	6.36	162
100	2540	43.60	1107	43.60	1107	53	1346	7.95	202
120	3048	52.32	1329	52.32	1329	63.60	1615	9.54	242
150	3810	65.40	1661	65.40	1661	79.50	2019	11.92	303
200	5080	87.20	2215	87.20	2215	106	2692	15.90	404
250	6350	109	2769	109	2769	132.50	3365	19.87	505
300	7620	130.80	3322	130.80	3322	159	4039	23.85	606

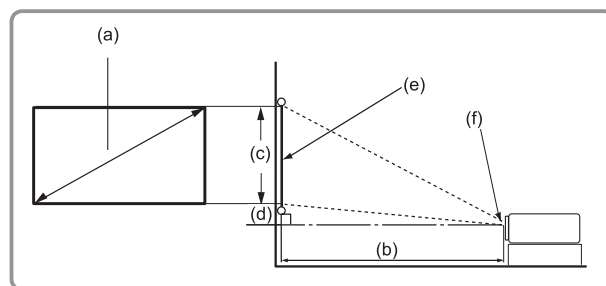
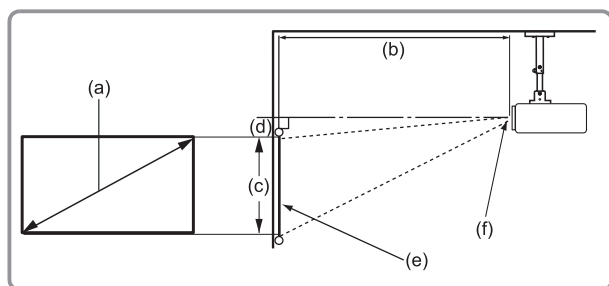
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。



# 投影寸法 - PS502W

- 16:10スクリーン上の16:10画像



## 注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心

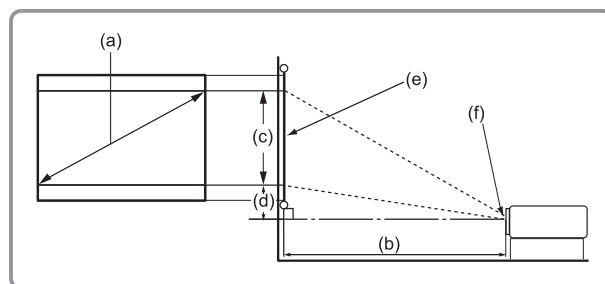
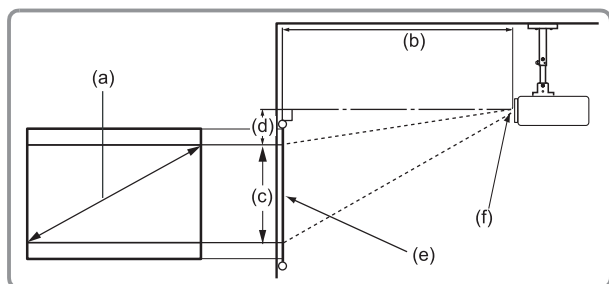
## 16:10スクリーン上の16:10画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
インチ	mm	最小		最大		インチ	mm	インチ	mm
40	1016	17.67	449	17.67	449	21.20	538	2.63	67
60	1524	26.51	673	26.51	673	31.80	808	3.94	100
80	2032	35.34	898	35.34	898	42.40	1077	5.26	134
90	2286	39.76	1010	39.76	1010	47.70	1212	5.91	150
100	2540	44.18	1122	44.18	1122	53	1346	6.57	167
120	3048	53.02	1347	53.02	1347	63.60	1615	7.89	200
150	3810	66.27	1683	66.27	1683	79.50	2019	9.86	250
200	5080	88.36	2244	88.36	2244	106	2692	13.14	334
250	6350	110.45	2805	110.45	2805	132.50	3365	16.43	417
300	7620	132.30	3360	132.30	3360	159	4039	19.70	500

## 注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

• 4:3スクリーン上の16:10画像



注記：

- (e) = スクリーン  
(f) = レンズの中心

4:3スクリーン上の16:10画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
40	1016	16.67	423	16.67	423	20	508	2.48	63
60	1524	25.01	635	25.01	635	30	762	3.72	94
80	2032	33.34	847	33.34	847	40	1016	4.96	126
90	2286	37.51	953	37.51	953	45	1143	5.58	142
100	2540	41.68	1059	41.68	1059	50	1270	6.20	157
120	3048	50.02	1270	50.02	1270	60	1524	7.44	189
150	3810	62.52	1588	62.52	1588	75	1905	9.30	236
200	5080	83.36	2117	83.36	2117	100	2540	12.40	315
250	6350	104.20	2647	104.20	2647	125	3175	15.50	394
300	7620	125.04	3176	125.04	3176	150	3810	18.60	472

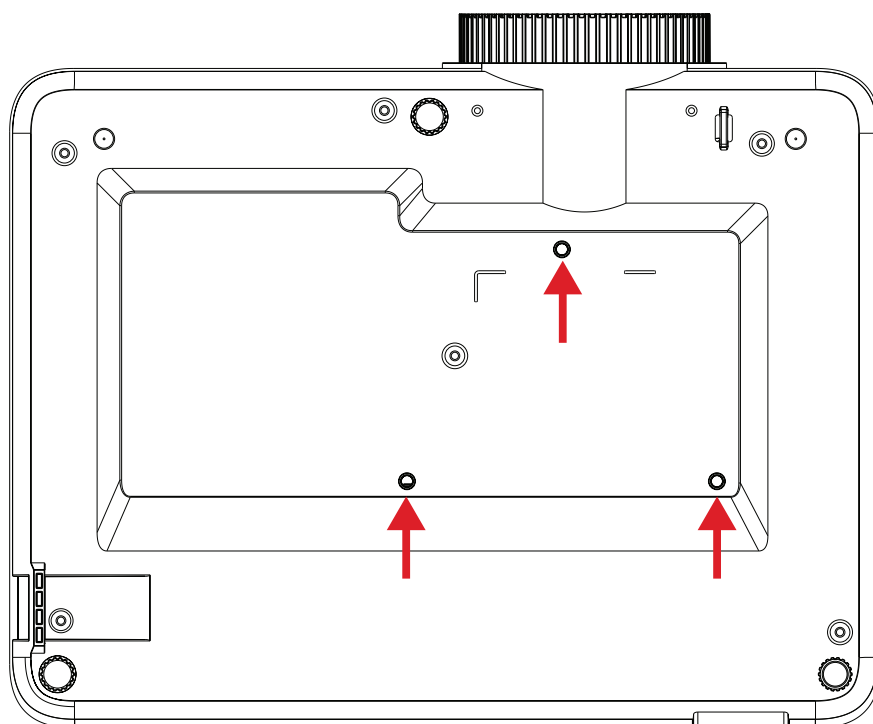
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

## プロジェクターの取り付け

**注記：** サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic®の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
  - ネジタイプ：M4 x 7
  - 最大ネジ長さ：7 mm



### 注意：

- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底面の間に少なくとも10 cm（3.9インチ）の間隙を空けてください。

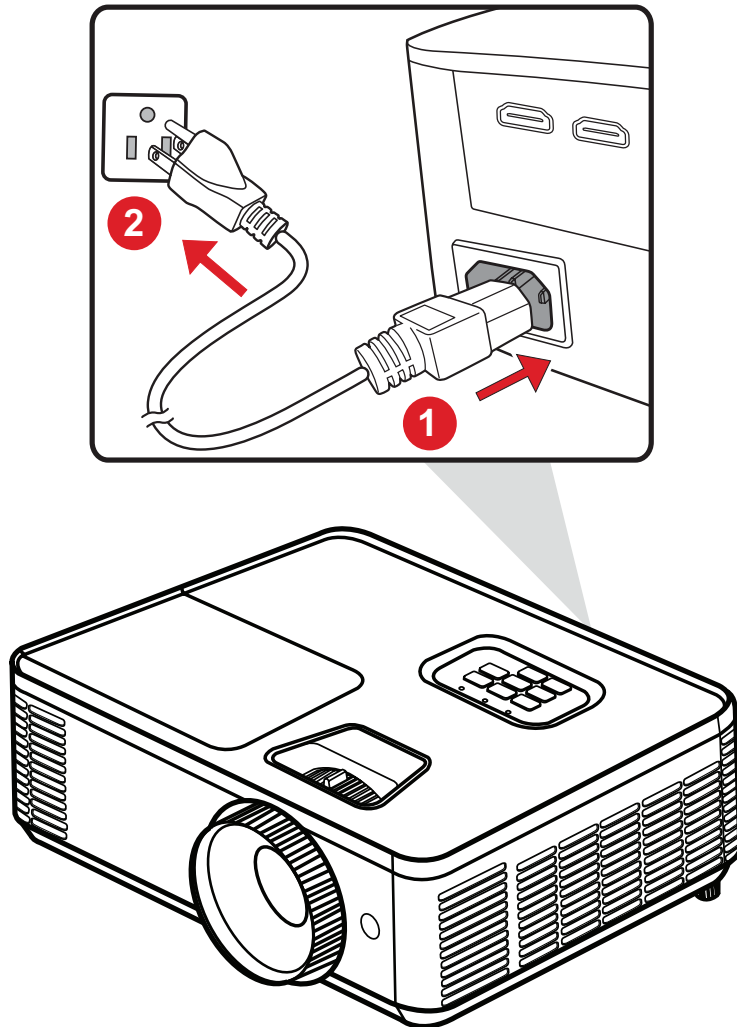
## セキュリティバーの使用

プロジェクターの盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、プロジェクターを固定物に固定します。

# 本体の接続

## 電源との接続

1. 電源コードをプロジェクター背面のAC入力ジャックに接続します。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



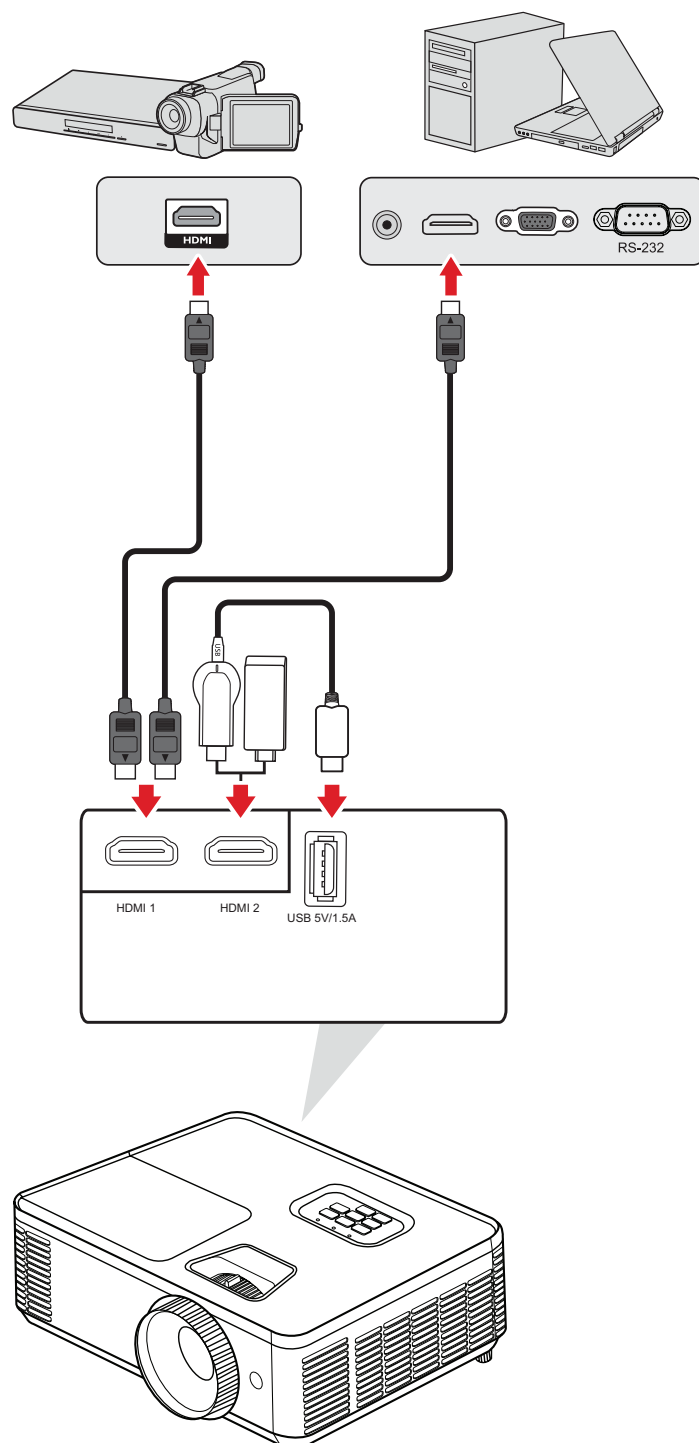
**注記：** プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

# 外付け機器への接続

## HDMI接続

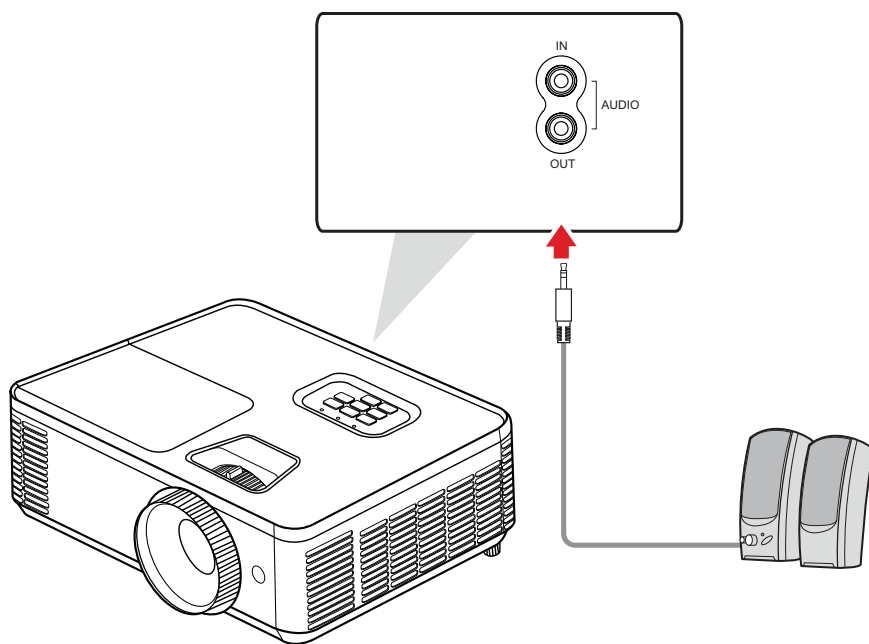
HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターのHDMI1/2ポートに接続します。

**注記：** iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを使用する必要があります。

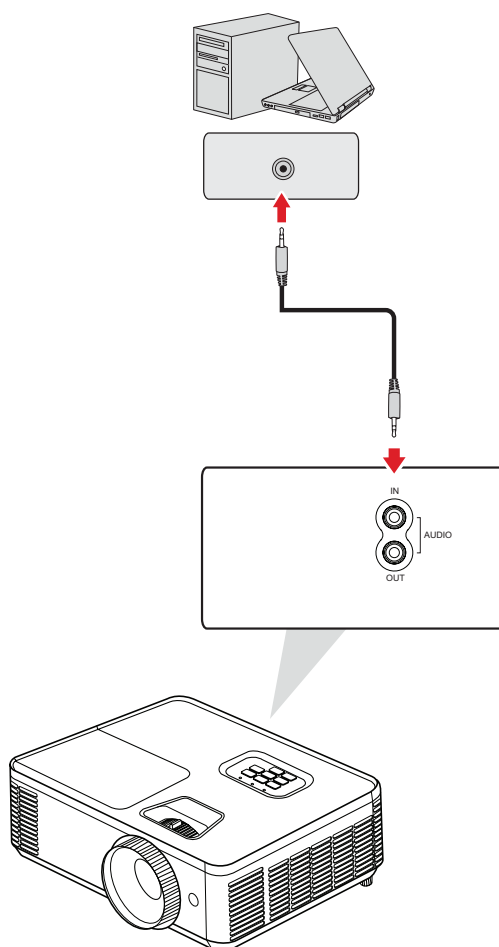


## オーディオ接続

音声出力ポートを介して、さまざまな外部サウンド配信デバイスに接続できます。

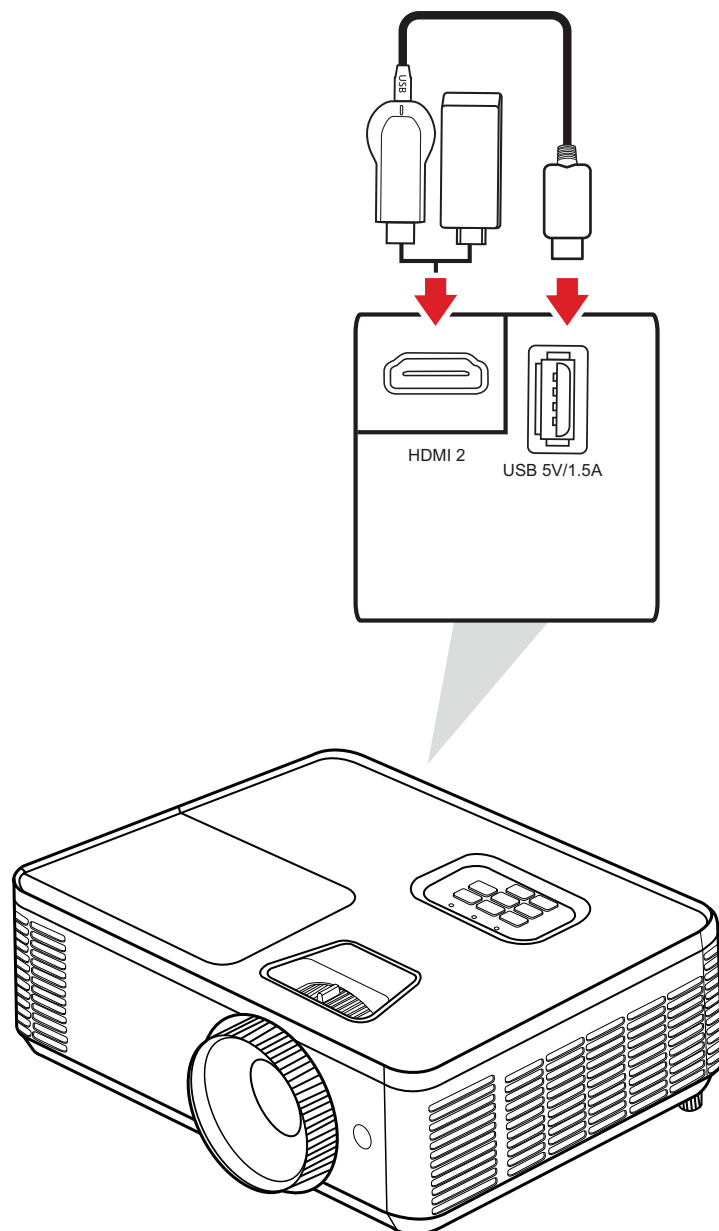


さらに、デバイスを音声入力ポートに接続して、プロジェクターの音声出力を使用できます。



## USBタイプA接続

USBポートの用途：サービスおよびHDMIデバイス。

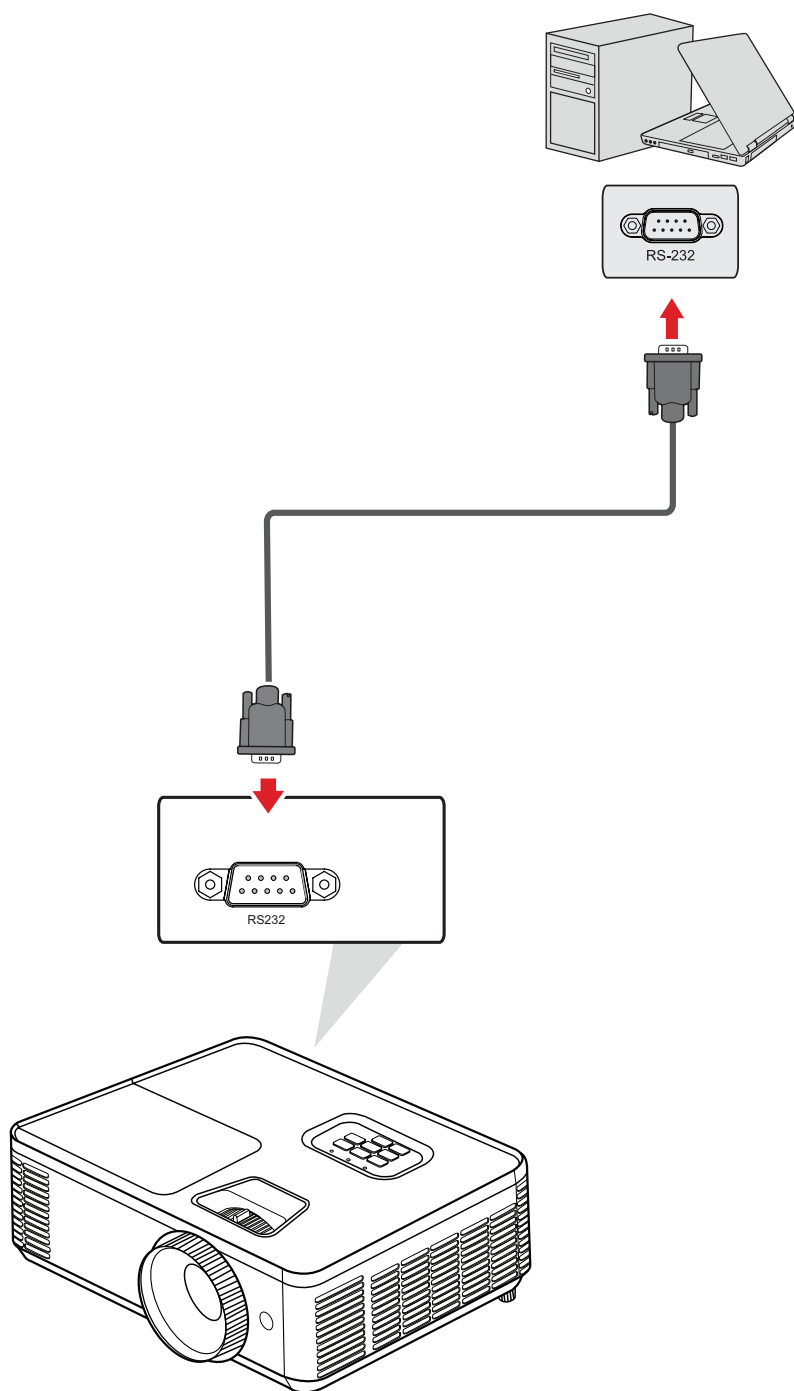


### 注記：

- PA700S/PA700X/PA700W/PS502X/PS502W USBタイプAは、HDMI dongle 充電用の5V/1.5A電源出力をサポートします。

## RS-232接続

RS-232シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択など、特定の機能をPCからリモートで制御できます。



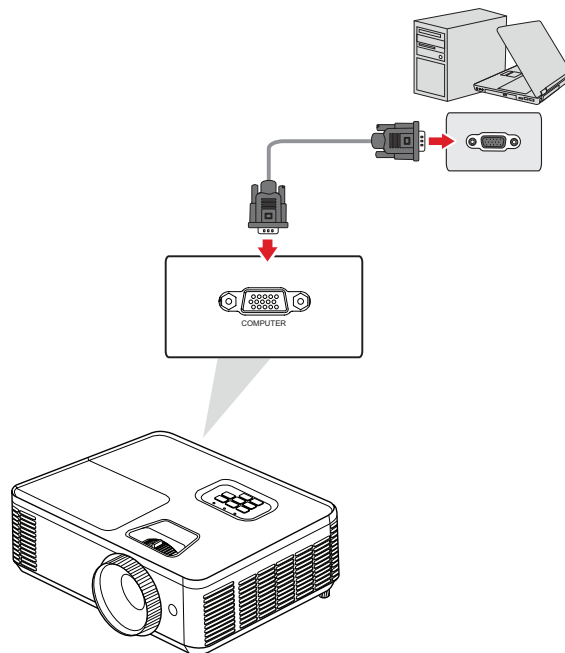


## デスクトップパソコン/ノートパソコンとモニターの接続

### デスクトップパソコン/ノートパソコンの接続

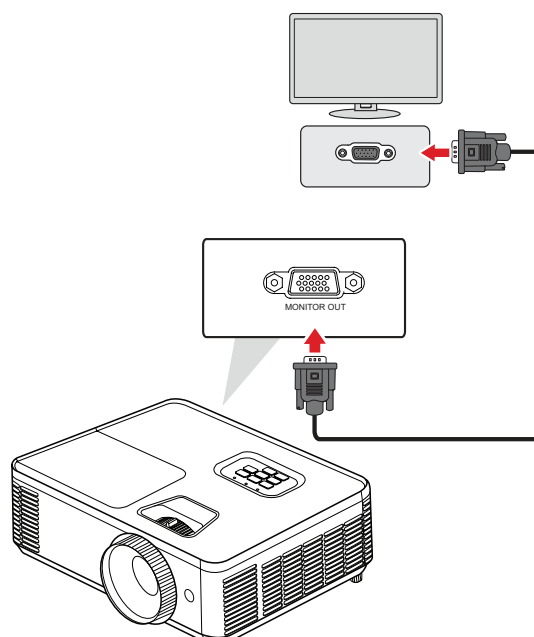
VGAケーブルの一方の端をデスクトップパソコン/ノートパソコンのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**コンピュータ**ポートに接続します。

**注記：** リモートマウスコントロール機能を使用するには、USBケーブルの一方の端をコンピュータのUSBポートに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**USB**ポートに接続します。



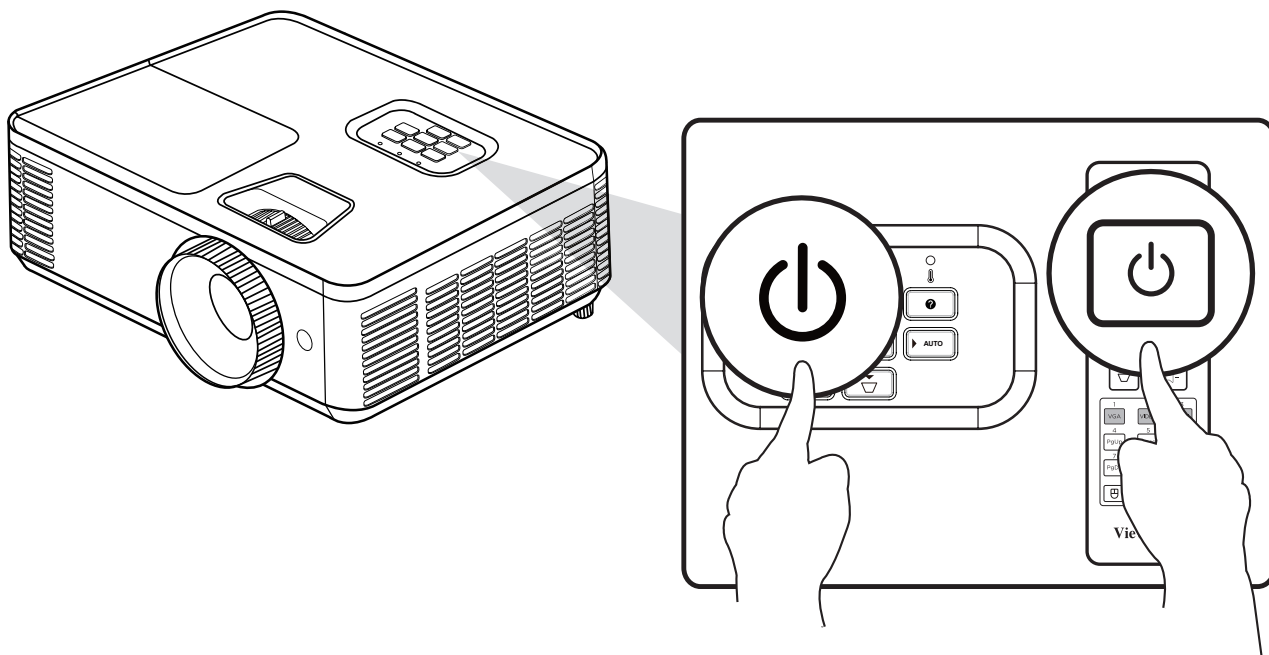
### モニターの接続

投影されたコンテンツをモニターで間近に表示したり、投影したりするには、モニターをプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続することができます。VGAケーブルの一方の端をモニターのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続します。



# プロジェクターの使用方法

## プロジェクターを起動する



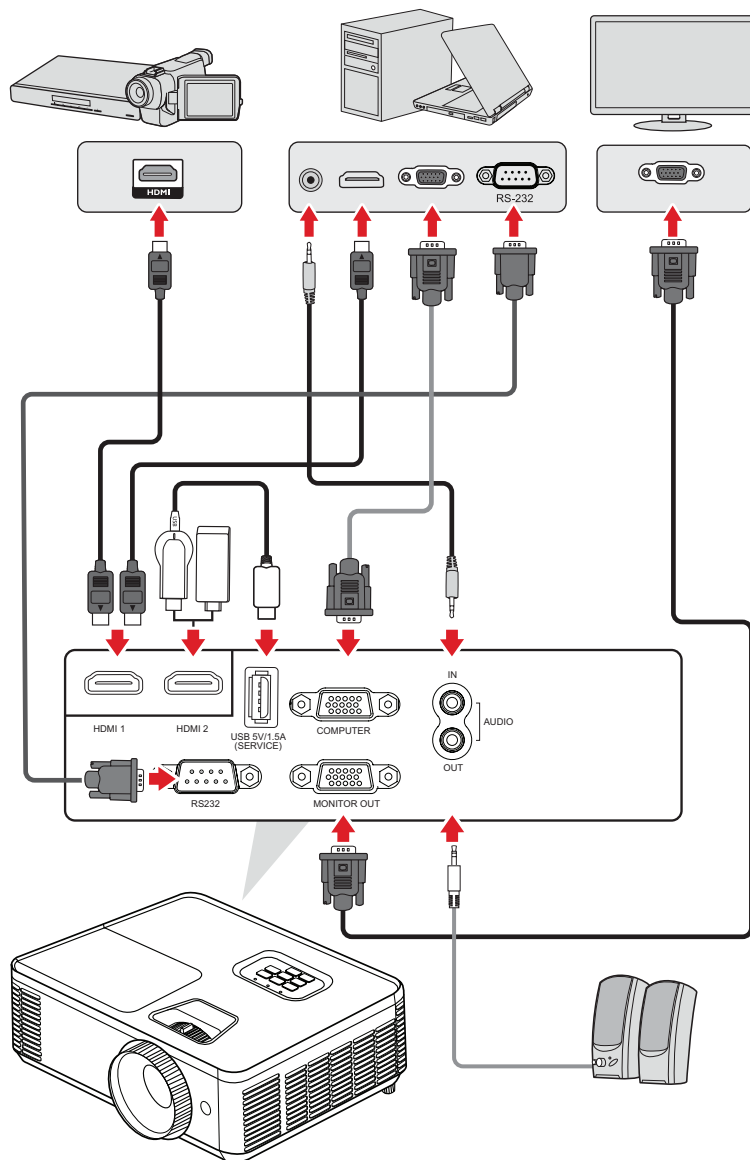
1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

### 注記:

- 起動中に電源インジケータライトが青く点滅します。
- 起動後1分以内にプロジェクターの電源を切ることができません。

## 入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。

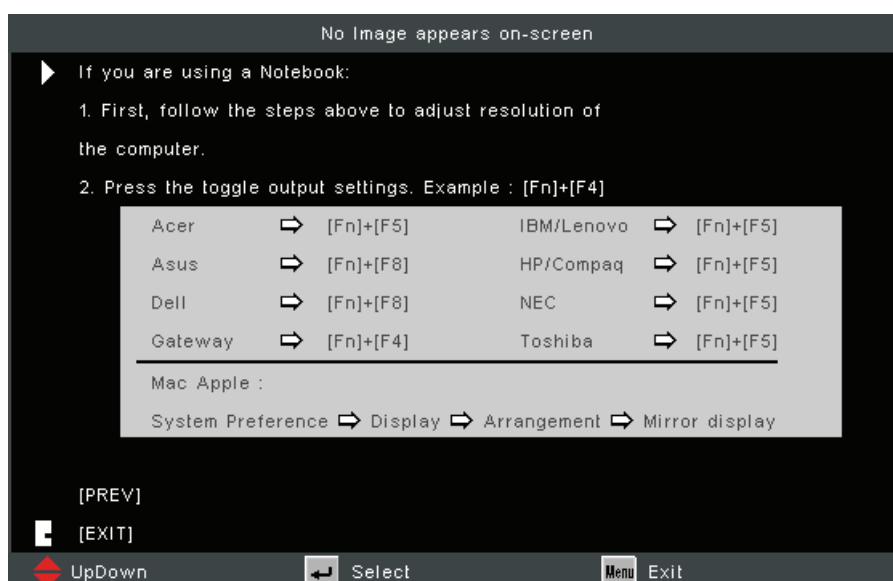
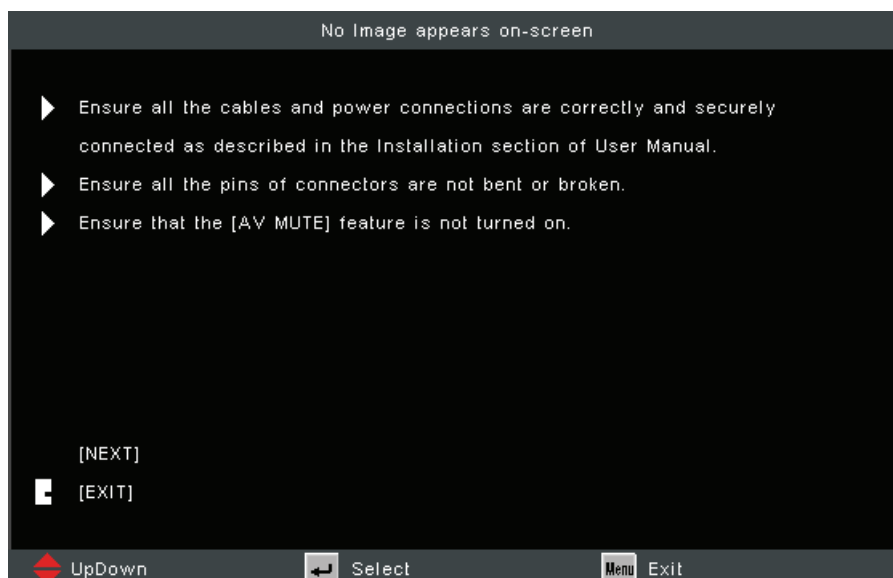
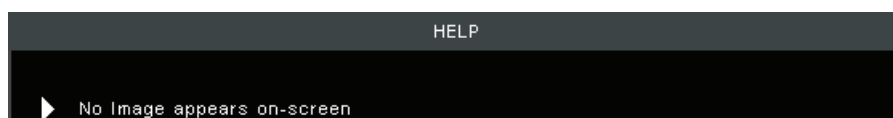


プロジェクターは、自動的に入力ソースを検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンの**ソース**ボタンを押して、目的の入力を選択します。

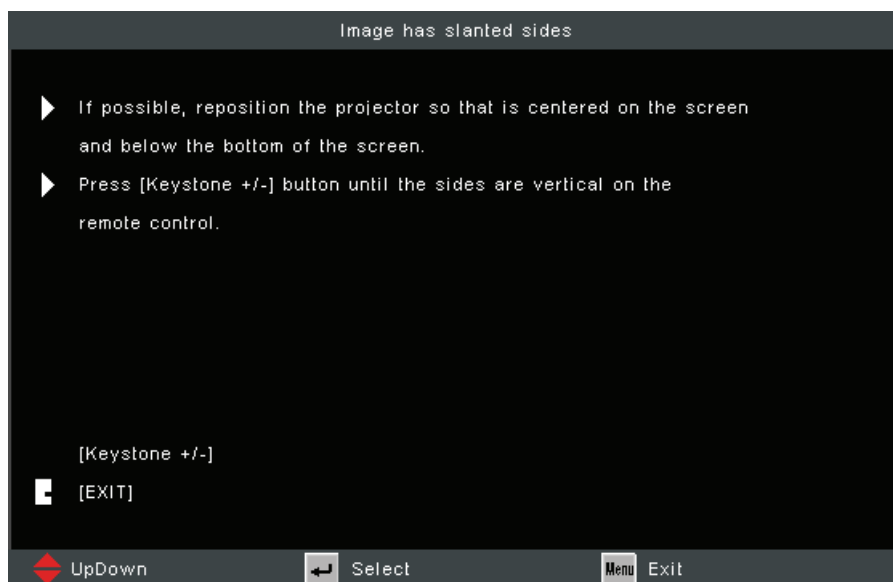
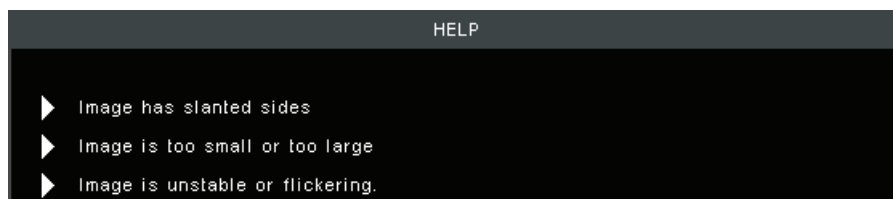
**注記：** 接続されたソースもオンであることを確認してください。

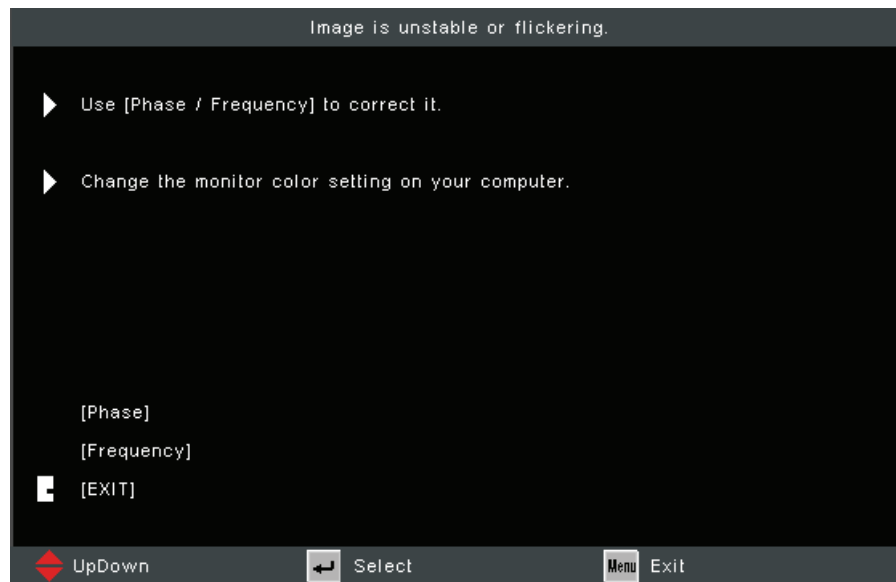
## Help Menu (ヘルプメニュー)

入力ソースが検出されない場合、以下の「Help Menu (ヘルプメニュー)」が表示されます。



入力ソースが検出された場合、以下の「Help Menu (ヘルプメニュー)」が表示されます。

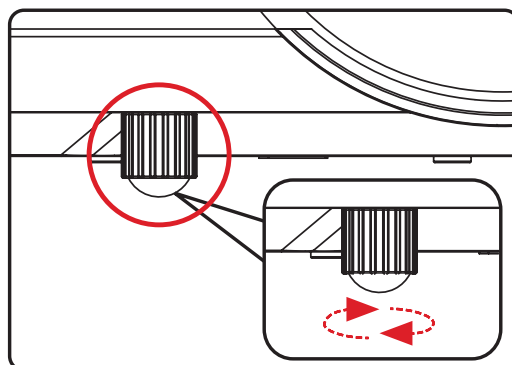
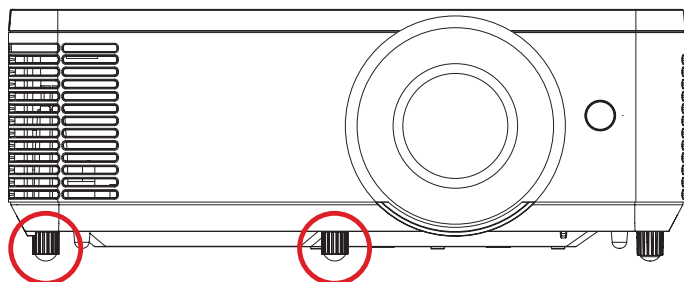




# 投影画像を調整する

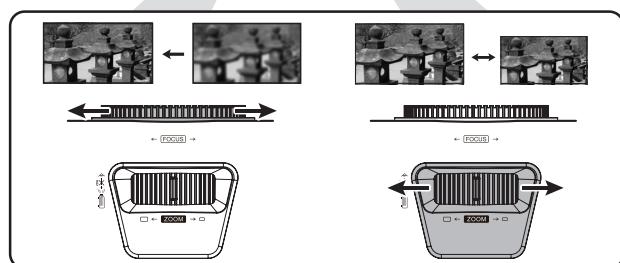
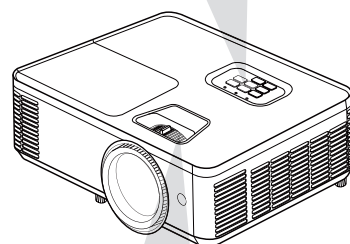
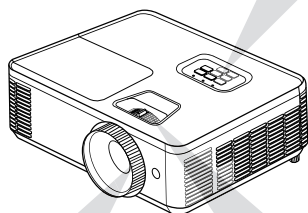
## プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには2つの調整フットが付属します。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。

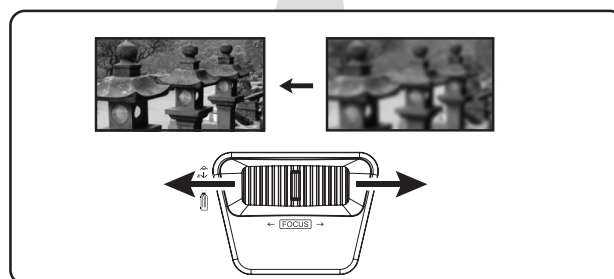


## フォーカス、キーストーン、ズームの調整

フォーカスリング、キーストーンキー、またはズームリング<sup>1</sup>を調整することで、画像の鮮明さと位置を改善および調整できます。



PA700シリーズ



PS502シリーズ

<sup>1</sup> PA700シリーズのみ



## プロジェクターをシャットダウンする

1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。

**注記：** 起動後1分以内にプロジェクターの電源を切ることができません。

2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。

**注記：** 冷却ファンは、冷却サイクルで約10秒間動作し続け、電源インジケータースタイルは青く点滅します。

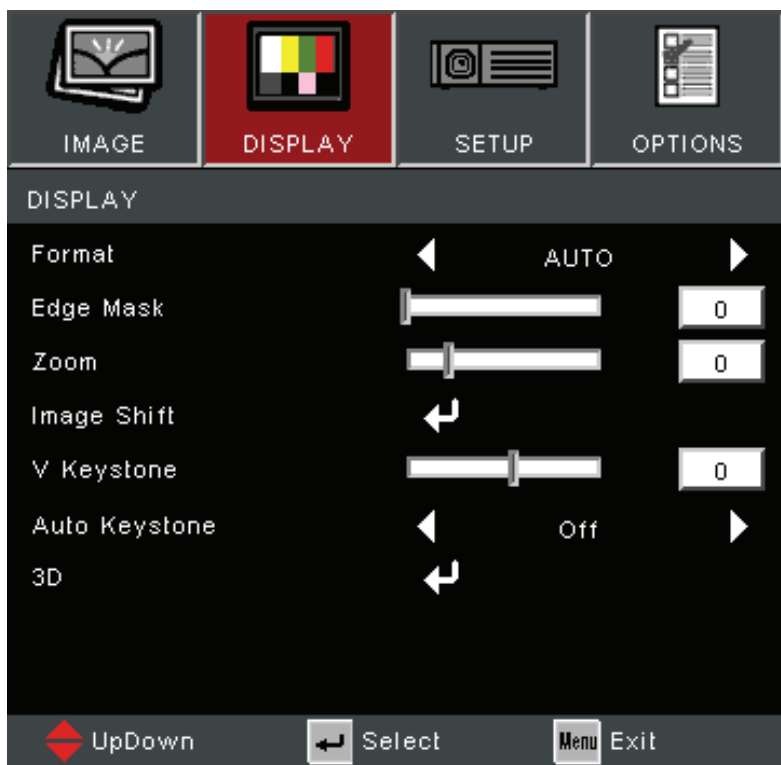
3. 電源インジケータースタイルが、赤く点灯し、スタンバイモードに入ります。

**注記：** プロジェクターを元に戻したい場合は、冷却サイクルが終了し、プロジェクターがスタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードの場合は、**電源**ボタンをもう一度押してプロジェクターをオンにします。

# プロジェクターを操作する

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー	詳細
Image (画像)	Display Mode (ディスプレイモード)、Brightness (輝度)、Contrast (コントラスト)、その他の画像関連の設定を調整します。
Display (ディスプレイ)	Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム)、Keystone (キーストーン)、3D設定を調整します。
Setup (セットアップ)	Language (言語)、Projection (投影)、Screen Type (スクリーンタイプ)、Security (セキュリティ)、Audio Settings (音声設定)、HDMI CEC設定を調整します。
Options (オプション)	Input Source (入力ソース) を選択し、いくつかのプロジェクター設定を調整します。

## メニューナビゲーション

プロジェクターには、画像と設定の調整を行うための多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの**メニュー/終了**ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、**ナビゲーション**ボタン(▲▼)を使用して、メインメニューの任意のアイテムを選択します。特定のページで選択を行い、プロジェクターまたはリモコンの**Enter**ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. **ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して、サブメニューで目的のアイテムを選択し、**Enter**を押して設定を表示します。**ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **Enter**を押して確認すると、前のメニューに戻ります。
6. 終了するには、**メニュー/終了**ボタンをもう一度押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

## メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Image (画像)	Display Mode (ディスプレイモード)	Standard (標準)	
		Bright (輝度)	
		Movie (映画)	
		Presentation (プレゼンテーション)	
		Blackboard (ブラックボード)	
		User (ユーザー)	
		3D	
	Brightness (輝度)	(-/+, -50~50)	
	Contrast (コントラスト)	(-/+, -50~50)	
	Sharpness (シャープネス)	(-/+, 1~15)	
	Color (色)	(-/+, -50~50)	
	Tint (色合い)	(-/+, -50~50)	
	Advanced (高度)	Gamma (ガンマ調整)	Film (フィルム)
			Video (ビデオ)
			Graphics (グラフィックス)
			Standard (標準)
		BrilliantColor™	(-/+, 1~10)
		Color Temp (色温度)	Warm (暖色)
			Medium (中間色)
			Cold (寒色)
		Color Settings (カラー設定)	Red (赤) / Green (緑) / Blue (青) / Cyan (シアン) / Magenta (マゼンダ) / Yellow (黄) / White (白色)
		Color Space (色空間) <sup>1</sup>	Auto (自動)
			RGB (0~255)
			RGB (16~235)
			YUV
		信号	Automatic (自動)
			Phase (位相)
			Frequency (周波数)
			H. Position (水平位置)
			V. Position (垂直位置)

<sup>1</sup> HDMI 信号の場合、Auto (自動)、RGB (0~255)、RGB (16~235)、YUV 色空間を選択します。VGA 信号の場合、Auto (自動)、RGB、YUV 色空間を選択します。

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Display (ディスプレイ)	Format (形式) <sup>2</sup>	4:3	
		16:9 (または16:10)	
		Native (ネイティブ)	
		Auto (自動)	
		LBX	
	Edge Mask (エッジマスク)	(-/+、0～10)	
	ズーム	(-/+、-5～25)	
	Image Shift (画像シフト)	H (Horizontal) (水平)	(-/+、-100～100)
		V (Vertical) (垂直)	(-/+、-100～100)
	V. Keystone (垂直キーストーン)	(-/+、-40～40) <sup>3</sup> (-/+、-20～20) <sup>4</sup>	
	Auto Keystone (自動キーストーン)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	3D	3D Mode (3Dモード)	Off (オフ)
			DLP-Link
		3D - 2D	3D
			L
			R
		3D Format (3D形式)	Auto (自動)
			Side by Side (サイド・バイ・サイド)
			Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)
			Frame Sequential (フレームシーケンシャル)
		3D Sync Invert (3D同期反転)	On (オン)
			Off (オフ)

<sup>2</sup> PA700S/PA700X/PS502Xの場合：4:3、16:9、Native (ネイティブ)、Auto (自動)。PA700W/PS502Wの場合：4:3、16:10、Native (ネイティブ)、Auto (自動)、LBX。

<sup>3</sup> PA700S/PA700X/PA700Wの場合

<sup>4</sup> PS502X/PS502Wの場合

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup (セットアップ)	Language (言語選択)	English	
		Deutsch	
		Français	
		Italiano	
		Español	
		Português	
		Polski	
		Nederlands	
		Svenska	
		Suomi	
		ελληνικά	
		繁體中文	
		簡体中文	
		한국어	
		Русский	
		Magyar	
		Čeština	
		عربي	
		ไทย	
		Türkçe	
		Tiếng Việt	
		Indonesia	
	Projection (投影)	Front Table (前面机上)	
		Front Ceiling (前面天井)	
		Rear Table (背面机上)	
		Rear Ceiling (背面天井)	
	Menu Location (メニュー位置)	Top-Left (左上)	
		Top-Right (右上)	
		Center (中央)	
		Bottom-Left (左下)	
		Bottom-Right (右下)	
	Screen Type (スクリーンタイプ) <sup>5</sup>	16:10	
		16:9	

<sup>5</sup> PA700W/PS502Wのみのスクリーンタイプ選択

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Setup (セットアップ)	Security (セキュリティ)	On (オン)	
		Off (オフ)	
		Security Timer (セキュリティタイマー)	Month (月)
			Day (日)
			Hour (時間)
		Change Password (パスワードの変更)	
	Audio Settings (オーディオ設定)	Mute (ミュート)	On (オン)
			Off (オフ)
		Volume (音量)	(-/+, 0~10)
		Audio Input (オーディオ入力)	Default (デフォルト)
			AUDIO (音声)
	Advanced (高度)	Logo (ロゴ)	Default (デフォルト)
			Neutral (ニュートラル)
	HDMI CEC	On (オン)	
		Off (オフ)	
Options (オプション)	Input Source (入力ソース)	VGA	
		HDMI 1	
		HDMI 2	
	Source Lock (ソースロック)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	High Altitude (高地)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Information Hide (情報非表示)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Keypad Lock (キーパッドロック)	On (オン)	
		Off (オフ)	
	Test Pattern (テストパターン)	Grid (グリッド)	
		White (白色)	
	IR Function (IR機能)	On (オン)	
		Off (オフ)	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Options (オプション)	Background Color (背景色)	Black (黒)	
		Red (赤)	
		Blue (青)	
		Green (緑)	
		White (白色)	
	Advanced (高度)	Direct Power On (直接電源オン)	On (オン)
			Off (オフ)
		Auto Power Off (min) (自動電源オフ(分))	(-/+, 0~180) minutes ((-/+, 0~180) 分)
		Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))	Active (アクティブ)
			Eco. (エコ)
		Signal Power On (信号電源オン)	On (オン)
			Off (オフ)
	Lamp Settings (ランプ設定)	Lamp Hour (ランプ使用時間)	
		Lamp Reminder (ランプリマインダー)	On (オン)
			Off (オフ)
		Brightness Mode (輝度モード)	Bright (輝度)
			Eco (エコ)
			Dynamic (ダイナミック)
		Lamp Reset (ランプリセット)	Yes (はい)
			No (いいえ)
	Optional Filter Settings (オプションフィルター設定)	Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)	Yes (はい)
			No (いいえ)
		Filter Usage Hours (フィルター使用時間)	0~99999
		Filter Reminder (フィルターリマインダー)	Off (オフ)
			300 Hr (300時間)
			500 Hr (500時間)
			800 Hr (800時間)
			1000 Hr (1000時間)
		Filter Reset (フィルターリセット)	
	Reset (リセット)		



# メニュー操作

## Image Menu (画像メニュー)



メニュー	詳細																
Display Mode (ディスプレイモード)	<p>視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。</p> <table><tr><th>モード</th><th>詳細</th></tr><tr><td>Standard (標準)</td><td>日中の環境での日常の状況に適しています。</td></tr><tr><td>Bright (輝度)</td><td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td></tr><tr><td>Movie (映画)</td><td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td></tr><tr><td>Presentation (プレゼンテーション)</td><td>ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。</td></tr><tr><td>Blackboard (ブラックボード)</td><td>黒板への投影時に最適な色設定を実現します。</td></tr><tr><td>User (ユーザー)</td><td>ユーザーのカスタム設定。</td></tr><tr><td>3D</td><td>3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。</td></tr></table>	モード	詳細	Standard (標準)	日中の環境での日常の状況に適しています。	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。	Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。	Blackboard (ブラックボード)	黒板への投影時に最適な色設定を実現します。	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。	3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。
モード	詳細																
Standard (標準)	日中の環境での日常の状況に適しています。																
Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。																
Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。																
Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。																
Blackboard (ブラックボード)	黒板への投影時に最適な色設定を実現します。																
User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。																
3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 <b>注記:</b> 3Dメガネが必要です。																
Brightness (輝度)	値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。																

メニュー	詳細
Contrast (コントラスト)	選択した入力と視聴環境に合うように、 <b>Brightness (輝度)</b> 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。
Sharpness (シャープネス)	値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。
Color (色)	白黒から完全に飽和した色に画像を調整します。
Tint (色合い)	値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。
Advanced (高度)	<p><u>Gamma (ガンマ調整)</u> 入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p> <p><u>BrilliantColor™</u> 画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。</p> <p><u>Color Temperature (色温度)</u> Warm (暖色)、Medium (中間色)、またはCold (冷色) から選択します。</p> <p><u>Color Setting (カラー設定)</u> 会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、色管理を検討する必要があります。色管理は、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。最初にPrimary Color (原色) を選択し、Hue (色相)、Saturation (彩度)、Gain (ゲイン) でその範囲/値を調整します。</p> <p><u>Color Space (色空間)</u> HDMI信号の場合、Auto (自動)、RGB (0~255)、RGB (16~235)、YUV色空間を選択します。 VGA信号の場合、Auto (自動)、RGB、YUV色空間を選択します。</p> <p><u>Signal (信号)</u> 入力ソースのPhase (位相)、Frequency (周波数)、Horizontal (水平) およびVertical (垂直) 位置の値を調整します。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Advanced (詳細) メニューを終了します。</p>

## Display Menu (ディスプレイメニュー)



メニュー	詳細														
Format (形式)	<p>投影画像のアスペクト比を選択します。</p> <table> <tr> <th>アスペクト比</th><th>詳細</th></tr> <tr> <td>4:3</td><td>4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。</td></tr> <tr> <td>16:9</td><td>16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。</td></tr> <tr> <td>Native (ネイティブ)</td><td>画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。</td></tr> <tr> <td>Auto (自動)</td><td>プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</td></tr> <tr> <td>16:10<sup>6</sup></td><td>16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これはすでに16:10のアスペクト比の画像に最も適しています。</td></tr> <tr> <td>LBX<sup>7</sup></td><td>非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。</td></tr> </table>	アスペクト比	詳細	4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。	16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。	Native (ネイティブ)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。	Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。	16:10 <sup>6</sup>	16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これはすでに16:10のアスペクト比の画像に最も適しています。	LBX <sup>7</sup>	非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。
アスペクト比	詳細														
4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。														
16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。														
Native (ネイティブ)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。														
Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。														
16:10 <sup>6</sup>	16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これはすでに16:10のアスペクト比の画像に最も適しています。														
LBX <sup>7</sup>	非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。														
Edge Mask (エッジマスク)	ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。														
Zoom (ズーム)	投影画像を縮小または拡大します。														
Image Shift (画像シフト)	投影画像を水平または垂直に調整します。														
V. Keystone (垂直キーストーン)	画像の歪みを垂直に調整します。														
Auto Keystone (自動キーストーン)	キーストーンを自動的に修正します。														

<sup>7</sup> WXGAモデル

メニュー	詳細									
3D	<u>3D Mode (3Dモード)</u> 3D機能を有効または無効にします。									
	<u>3D-2D</u> 3Dコンテンツを画面に表示する方法を選択します。									
	<table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>3D</td><td>3D信号を表示します。</td></tr><tr><td>L (Left) (L (左))</td><td>3Dコンテンツの左フレームを表示します。</td></tr><tr><td>R (Right) (R (右))</td><td>3Dコンテンツの右フレームを表示します。</td></tr></table>	オプション	詳細	3D	3D信号を表示します。	L (Left) (L (左))	3Dコンテンツの左フレームを表示します。	R (Right) (R (右))	3Dコンテンツの右フレームを表示します。	
	オプション	詳細								
	3D	3D信号を表示します。								
	L (Left) (L (左))	3Dコンテンツの左フレームを表示します。								
	R (Right) (R (右))	3Dコンテンツの右フレームを表示します。								
	<u>3D Format (3D形式)</u> 3Dコンテンツ形式を選択します。									
	注記: Blu-ray 3Dソースは自動的に検出され、オプションは選択できません。									
	<table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>Auto (自動)</td><td>3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。</td></tr><tr><td>Side by Side (サイド・バイ・サイド)</td><td>サイドバイサイド形式で表示します。</td></tr><tr><td>Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)</td><td>トップアンドボトム形式で表示します。</td></tr><tr><td>Frame Sequential (フレームシーケンシャル)</td><td>フレームシーケンシャル形式で表示します。</td></tr></table>	オプション	詳細	Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。	Side by Side (サイド・バイ・サイド)	サイドバイサイド形式で表示します。	Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)
オプション	詳細									
Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。									
Side by Side (サイド・バイ・サイド)	サイドバイサイド形式で表示します。									
Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。									
Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。									
<u>3D Sync Invert (3D同期反転)</u> 3D同期反転機能を有効または無効にします。										

**注記:** このプロジェクターは、DLP-Link 3Dソリューションを備えた3D対応プロジェクターです。3DメガネがDLP-Link 3D用であることを確認してください。このプロジェクターは、**HDMI 1/HDMI 2**ポートを介してフレームシーケンシャル (Page-Flip) 3Dをサポートします。最高性能を達成するには、1920 x 1080の解像度をお勧めします。4K (3840 x 2160) の解像度は3Dモードではサポートされていないことに注意してください。

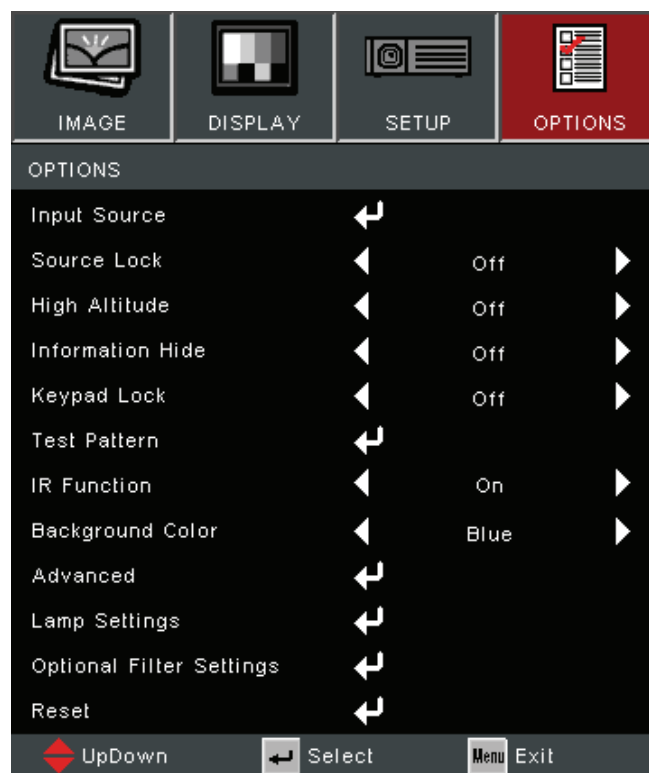
## Setup Menu (セッアップメニュー)



メニュー	詳細
Language (言語選択)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。
Projection (投影)	好ましい投影位置を選択します。
Menu Location (メニュー位置)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの場所を選択します。
Screen Type (スクリーンタイプ)	アスペクト比16:10または16:9から選択します。
Security (セキュリティ)	<p><u>Security (セキュリティ)</u>  プロジェクターを使用する前に、パスワードプロンプトを有効または無効にします。  <b>注記:</b> デフォルトのパスワードは次のとおりです: 1234</p> <p><u>Security Timer (セキュリティタイマー)</u>  プロジェクターを使用できる時間を設定します。この時間が経過すると、パスワードを再度入力するように要求されます。</p> <p><u>Change Password (パスワードの変更)</u>  パスワードを設定または変更します。</p>

メニュー	詳細
<b>Audio Settings (オーディオ設定)</b>	<u>Mute (ミュート)</u> 一時的に音をオフにします。  <u>Volume (音量)</u> 音量レベルを調整します。  <u>オーディオ入力</u> 音声入力方式を選択できます。
<b>Advanced (高度)</b>	<u>Logo (ロゴ)</u> 「起動画面」を設定します。変更が行われた場合、プロジェクターが次に電源を入れたときに有効になります。
<b>HDMI CEC</b>	HDMI CEC互換性のあるデバイスをHDMIケーブルを使用してプロジェクターに接続すると、プロジェクターのOSDのHDMI CEC制御機能を使用して、同じ電源オンまたは電源オフステータスでプロジェクターを制御できます。これにより、グループ内の1つのデバイスまたは複数のデバイスをHDMI CECを介して電源を入れたり、電源を切ったりすることができます。  <b>注記：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CEC機能が正常に動作するためには、デバイスが<b>HDMI</b>ケーブルを介してプロジェクターのHDMI入力に正しく接続され、そのCEC機能がオンになっていることを確認してください。</li> <li>• 接続されたデバイスによっては、CEC機能が機能しない場合があります。</li> <li>• CEC機能は、プロジェクターがデバイスの電源をオフにすることと、デバイスがプロジェクターの電源をオンにすることをサポートします。</li> </ul>

## Options Menu (オプションメニュー)



メニュー	詳細
<b>Input Source (入力ソース)</b>	このオプションを使用して、入力ソースを有効/無効にします。
<b>Source Lock (ソースロック)</b>	<p><u>On (オン)</u> プロジェクターは、現在の入力選択のみを検索します。</p> <p><u>Off (オフ)</u> 現在の入力信号が失われると、プロジェクターは他の信号を検索します。</p>
<b>High Altitude (高地)</b>	「On (オン)」を選択すると、ファンの回転が速くなります。この機能は、空気が薄い高地で役立ちます。
<b>Information Hide (情報非表示)</b>	「On (オン)」を選択すると、情報メッセージが非表示になります。「Off (オフ)」を選択すると、ソースメッセージが表示されます。
<b>Keypad Lock (キーパッドロック)</b>	<p>キーパッドロック機能が「On (オン)」の場合、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンで操作できます。「Off (オフ)」を選択すると、コントロールパネルを再度使用できるようになります。</p> <p><b>注記:</b> キーパッドロックをオフにするには、プロジェクター上部の「Enter」キーを5秒間押し続けます。</p>
<b>Test Pattern (テストパターン)</b>	テストパターンをグリッドと白から選択します。
<b>IR Function (IR機能)</b>	リモコン操作を有効/無効にします。
<b>Background Color (背景色)</b>	入力ソースが利用できない場合、黒、赤、青、緑、または白の画面を表示します。



メニュー	詳細								
Advanced (高度)	<u>Direct Power On (直接電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すことなく、AC電源が供給されるときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。								
	<u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> プロジェクターに信号が送信されていないときに、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終了すると、プロジェクターは自動的に電源が切れます (数分後)。								
	<u>Power Mode (Standby) (電源モード (スタンバイ))</u> <table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>Active (アクティブ)</td><td>VGAが利用可能な通常のスタンバイ (&gt;0.5W)。</td></tr><tr><td>Eco (エコ)</td><td>VGAが利用できない場合、電力使用量 (&lt;0.5W) を減らします。</td></tr></table>	オプション	詳細	Active (アクティブ)	VGAが利用可能な通常のスタンバイ (>0.5W)。	Eco (エコ)	VGAが利用できない場合、電力使用量 (<0.5W) を減らします。		
	オプション	詳細							
	Active (アクティブ)	VGAが利用可能な通常のスタンバイ (>0.5W)。							
Eco (エコ)	VGAが利用できない場合、電力使用量 (<0.5W) を減らします。								
<u>Signal Power On (信号電源オン)</u> 入力ソースから信号が検出されると、プロジェクターまたはリモコンの <b>Power (電源)</b> ボタンを押さなくても、プロジェクターの電源が自動的にオンになります。 <b>注記:</b> HDMIケーブルが1本しか接続されていない場合、プロジェクターはHDMIによって自動的に電源が入りません。									
<u>Exit (終了)</u> Advanced (詳細) メニューを終了します。									
Lamp Settings (ランプ設定)	<u>Lamp Hour (ランプ使用時間)</u> 現在のランプのランプ使用時間を表示します。								
	<u>Lamp Reminder (ランプリマインダー)</u> 「ランプ交換メッセージ」表示時の警告メッセージの表示/非表示を切り替えます。								
	<u>Brightness Mode (輝度モード)</u> <table><tr><th>オプション</th><th>詳細</th></tr><tr><td>Bright (輝度)</td><td>最高の明るさと消費電力の状態です。</td></tr><tr><td>Eco (エコ)</td><td>光出力を暗くし、消費電力を低下させます。</td></tr><tr><td>Dynamic (ダイナミック)</td><td>最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。</td></tr></table>	オプション	詳細	Bright (輝度)	最高の明るさと消費電力の状態です。	Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。	Dynamic (ダイナミック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。
	オプション	詳細							
	Bright (輝度)	最高の明るさと消費電力の状態です。							
Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。								
Dynamic (ダイナミック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。								
<u>Lamp Reset (ランプリセット)</u> Lamp Hour (ランプ使用時間) カウンターをリセットします。ランプを交換してからご使用ください。									
<u>Exit (終了)</u> Lamp Settings (ランプ設定) を終了します。									

メニュー	詳細
Optional Filter Settings (オプションフィルター 設定)	<p><u>Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)</u> 「Yes (はい)」を選択すると、指定した時間後に警告メッセージが表示されます。「No (いいえ)」を選択すると、警告メッセージが表示されなくなります。</p> <p><b>注記：</b>デフォルトの設定は「No (いいえ)」です。フィルターを取り付けた後、プロジェクターの電源を入れて<b>Menu (メニュー)</b>を押し、<b>Options (オプション) &gt; Optional Filter Settings (オプションのフィルター設定) &gt; Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)</b>に移動し、<b>Yes (はい)</b>を選択します。</p> <p><u>Filter Usage Hours (フィルター使用時間)</u> フィルター使用時間を表示します。</p> <p><u>Filter Reminder (フィルターリマインダー)</u> フィルターメッセージが表示されるまでの時間数を選択します。</p> <p><b>注記：</b>工場出荷時のデフォルトは500時間です。</p> <p><u>Filter Reset (フィルターリセット)</u> ダストフィルターの交換や清掃後は、ダストフィルターカウンターをリセットしてください。</p> <p><u>Exit (終了)</u> Optional Filter Settings (オプションフィルター設定) メニューを終了します。</p>
Reset (リセット)	<p>設定をデフォルトに戻します。</p> <p><b>注記：</b>リセットする場合、次の設定はそのまま維持されます：Auto Keystone (自動キーストーン)、Filter Usage Hour (フィルター使用時間)、High Altitude (高高度)、Lamp hours (ランプ使用時間)、Language (言語)、Optional Filter installed (オプションフィルター装着)、Password (パスワード)、Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))、Projection (投影)、Security (セキュリティ)、Security Timer (セキュリティタイマー)、V Keystone (垂直キーストーン)。</p>

### 注記：

- ダストフィルターを取り付けると、プロジェクターの騒音レベルが高くなる場合があります。
- 高温 (>35℃) または高高度 (>1524m) での操作条件では、ダストフィルターを取り付けるときに「High Altitude (高地)」冷却モードに切り替えることをお勧めします。
- ダストフィルターを取り付けた後、100時間ごとにダストフィルターを清掃することをお勧めします。
- フィルターを取り付けたり取り外したりする前に、プロジェクターの電源を切り、電源からプラグを抜いてください。

# 付録

## 仕様 - PA700

項目	区分	仕様		
		PA700S	PA700X	PA700W
プロジェクター	タイプ	ランプ (RLC-128)		
	画面サイズ	30"~300"		
	スローレシオ	1.94~2.16 (100インチ@3.94m)		1.54~1.72 (100インチ @3.33m)
	レンズ	F=2.42~2.53、f=21.85~24.01 mm		
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD		
解像度	標準	800 x 600	1024 x 768	1280 x 800
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15~102kHz、f <sub>v</sub> : 23~120Hz、 ピクセルレート: 170MHz		
電源 <sup>1</sup>	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)		
動作環境	気温	0°C~40°C (32°F~104°F)		
	湿度	10%~80% (非結露)		
	高度	0~1,524m (0~5,000フィート) (0°C~35°C) 1,525~3,657m (5,000~12,000フィート) (0°C~30°C)		
保管環境	気温	-30°C~65°C (-22°F~149°F)		
	湿度	10%~90% (非結露)		
	高度	0~12,192 km (0~40,000フィート)		
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	309 x 115 x 234 mm (12.2" x 4.5" x 9.21")		
重量	寸法	2.70 kg (5.95 lbs)		
節約モード	オン <sup>2</sup>	295W (標準)		
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)		

<sup>1</sup> ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタのみをご使用してください。

<sup>2</sup> 試験条件はEETI標準に従ったものです。

## 仕様 - PS502

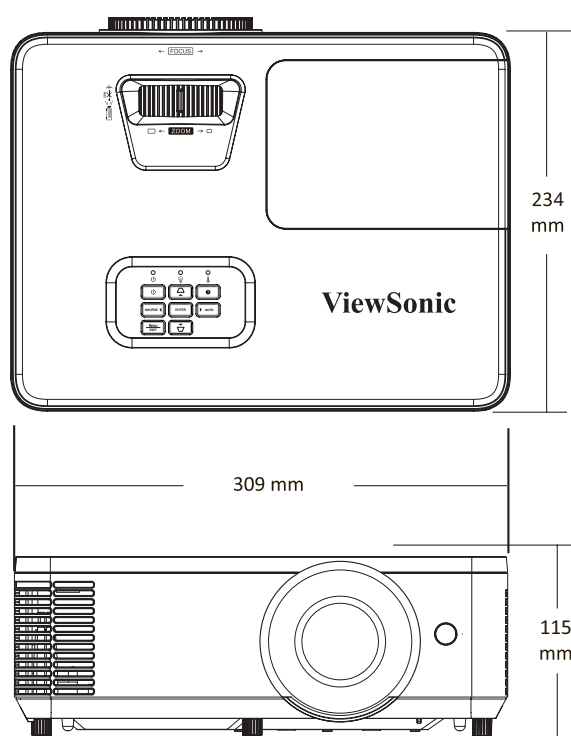
項目	区分	仕様	
		PS502X	PS502W
プロジェクター	タイプ	ランプ (RLC-128)	
	画面サイズ	60"~300"	
	スローレシオ	0.616 (77インチ@0.96m)	0.52 (87インチ@0.97m)
	レンズ	F = 2.7、f = 7.15 mm	F = 2.8、f = 7.51 mm
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD	
解像度	標準	1024 x 768	1280 x 800
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15~102 kHz、f <sub>v</sub> : 23~120 Hz、 ピクセルレート: 170MHz	
電源 <sup>3</sup>	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)	
動作環境	気温	0°C~40°C (32°F~104°F)	
	湿度	10%~80% (非結露)	
	高度	0~1,524m (0~5,000フィート) (0°C~35°C) 1,525~3,657m (5,000~12,000フィート) (0°C~30°C)	
保管環境	気温	-30°C~65°C (-22°F~149°F)	
	湿度	10%~90% (非結露)	
	高度	0~12.1 km (0~40,000フィート)	
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	309 x 115 x 234 mm (12.2" x 4.5" x 9.21")	
重量	寸法	2.87 kg (6.32 lbs)	
節約モード	オン <sup>4</sup>	295W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

<sup>3</sup> ViewSonic®製または認定されたメーカー製の電源アダプタのみをご使用してください。

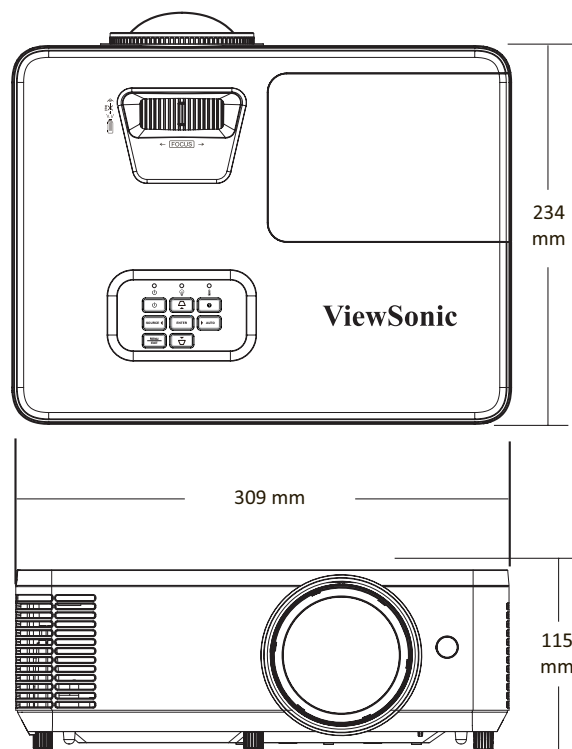
<sup>4</sup> 試験条件はEET標準に従ったものです。

# プロジェクターの寸法

309 mm (幅) x 115 mm (高さ) x 234 mm (奥行)



PA700シリーズ



PS502シリーズ

# タイミングチャート

## アナログRGB

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75
SVGA	800 x 600	56/60/72/75
XGA	1024 x 768	60/70/75
	1152 x 864	75
WXGA	1280 x 800	60
クアッド-VGA	1280 x 960	60
SXGA	1280 x 1024	60/75
WXGA	1366 x 768	60
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
HD	1280 x 720	60/120
MAC 13"	640 x 480	67
MAC 16"	832 x 624	75
MAC 19"	1024 x 768	75
MAC 21"	1152 x 870	75
HDTV(1080p)	1920 X 1080	60

## HDMI PC

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75
SVGA	800 x 600	56/60/72/75
XGA	1024 x 768	60/70/75
	1152 x 864	75
WXGA	1280 x 800	60
クアッド-VGA	1280 x 960	60
SXGA	1280 x 1024	60/75
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
MAC 16"	832 x 624	75
MAC 21"	1152 x 870	75
フルHD	1920 x 1080	60

## HDMIビデオ

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDTV(1080p)	1920 x 1080	50/60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60
SDTV(480p)	720 X 480	60
SDTV(576p)	720 x 576	50
SDTV(480i)	720 X 480	60
SDTV(576i)	720 x 576	50

## HDMI 3D

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
フレームパッキング		
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50/60
サイド・バイ・サイド		
1080i	1920 x 1080	50/60
トップ・アンド・ボトム		
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50/60

### 注記：

- 1080i@25Hzおよび720p@50Hzは100 Hzで実行されます。他の3Dタイミングは120 Hzで実行されます。
- 1080P@24Hzは144Hz (XGA、WXGA、1080p)/96Hz (WUXGA) で動作します。
- 入力フレームレートが48Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの2倍に設定されます (FRC = 2xモード)。
- 3D入力フレームレートが25Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの4倍に設定されます (FRC = 4xモード)。
- 3D入力フレームレートが24Hz (23.9Hzを含む) の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの6倍に設定されます (FRC = 6xモード)。



# トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。</li><li>上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。</li><li>入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。</li></ul>
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスリングを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクターレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。</li><li>プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。</li></ul>
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none"><li>OSDメニューを開き、<b>[Setup (セットアップ)] &gt; [Projection (投影)]</b>に移動し、投影オプションを調整してください。</li></ul>
16:9のDVDを投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"><li>アナモルフィックDVDまたは16:9のDVDを再生すると、プロジェクターは16:9で最高の画像を表示します。</li><li>4:3形式のDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターOSDメニューの形式トを4:3に変更してください。</li><li>DVDプレーヤーのディスプレイ形式を16:9 (ワイド) アスペクト比としてセットアップしてください。</li></ul>

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが以下の範囲内にあることを確認してください：</li> <li>• 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。</li> </ul>
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも20秒待ってから、再接続して再試行してください。</li> </ul>

## LEDインジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30秒間待って、もう一度やり直してください。警告インジケータが点灯または点滅する場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源インジケータライト		温度インジケータライト	光源インジケータライト
	赤	青	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード入力)	点灯			
電源オン (ウォーミング中)		点滅 (0.5秒オフ/ 0.5秒オン)		
電源オンとランプ照明		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5秒オフ/ 0.5秒オン) 冷却ファンがオフになったら、 赤いライトが点灯します。		
エラー (ランプ故障)	点滅			点灯
エラー (ファン故障)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

# メンテナンス

## お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic®または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

## レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

**注意：** レンズを研磨剤でこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

**注意：** ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

## プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

## 免責事項

- ViewSonic®は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

# 規制および補修情報

## コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

### FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の 방법으로設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。


- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

**警告：**コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

### Industry Canada Statement

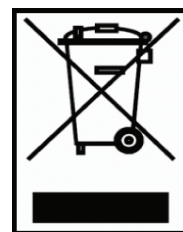
CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

### ヨーロッパ諸国における CE 準拠

 本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令 2009/125/EC。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があることを示しています。



## RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
  - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
  - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
  - » 最長 (1,500 mm) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。



## **インドの有害物質に関する制限**

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1%を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01%を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

## **廃棄処分について**

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

## **米国およびカナダ：**

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

## **ヨーロッパ：**

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

# 著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation、2023。All rights reserved。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

**おことわり：**ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。



## カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、下記の表に記載されるお問合せ先をご確認いただくか、販売店にお問合せください。

**注：**製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

国/地域	ホームページ	国/地域	ホームページ
<b>アジア太平洋地域およびアフリカ</b>			
オーストラリア	<a href="http://www.viewsonic.com/au/">www.viewsonic.com/au/</a>	バングラデシュ	<a href="http://www.viewsonic.com/bd/">www.viewsonic.com/bd/</a>
中国 (China)	<a href="http://www.viewsonic.com.cn">www.viewsonic.com.cn</a>	香港 (繁体中文)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk/">www.viewsonic.com/hk/</a>
香港 (英語)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk-en/">www.viewsonic.com/hk-en/</a>	インド	<a href="http://www.viewsonic.com/in/">www.viewsonic.com/in/</a>
インドネシア	<a href="http://www.viewsonic.com/id/">www.viewsonic.com/id/</a>	イスラエル	<a href="http://www.viewsonic.com/il/">www.viewsonic.com/il/</a>
日本 (Japan)	<a href="http://www.viewsonic.com/jp/">www.viewsonic.com/jp/</a>	韓国	<a href="http://www.viewsonic.com/kr/">www.viewsonic.com/kr/</a>
マレーシア	<a href="http://www.viewsonic.com/my/">www.viewsonic.com/my/</a>	中東	<a href="http://www.viewsonic.com/me/">www.viewsonic.com/me/</a>
ミャンマー	<a href="http://www.viewsonic.com/mm/">www.viewsonic.com/mm/</a>	ネパール	<a href="http://www.viewsonic.com/np/">www.viewsonic.com/np/</a>
ニュージーランド	<a href="http://www.viewsonic.com/nz/">www.viewsonic.com/nz/</a>	パキスタン	<a href="http://www.viewsonic.com/pk/">www.viewsonic.com/pk/</a>
フィリピン	<a href="http://www.viewsonic.com/ph/">www.viewsonic.com/ph/</a>	シンガポール	<a href="http://www.viewsonic.com/sg/">www.viewsonic.com/sg/</a>
臺灣 (Taiwan)	<a href="http://www.viewsonic.com/tw/">www.viewsonic.com/tw/</a>	ประเทศไทย	<a href="http://www.viewsonic.com/th/">www.viewsonic.com/th/</a>
Việt Nam	<a href="http://www.viewsonic.com/vn/">www.viewsonic.com/vn/</a>	南アフリカおよびモーリシャス	<a href="http://www.viewsonic.com/za/">www.viewsonic.com/za/</a>
<b>アメリカ</b>			
合衆国	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>	カナダ	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>
ラテンアメリカ	<a href="http://www.viewsonic.com/la">www.viewsonic.com/la</a>		
<b>ヨーロッパ</b>			
ヨーロッパ	<a href="http://www.viewsonic.com/eu/">www.viewsonic.com/eu/</a>	フランス	<a href="http://www.viewsonic.com/fr/">www.viewsonic.com/fr/</a>
Deutschland	<a href="http://www.viewsonic.com/de/">www.viewsonic.com/de/</a>	Қазақстан	<a href="http://www.viewsonic.com/kz/">www.viewsonic.com/kz/</a>
Россия	<a href="http://www.viewsonic.com/ru/">www.viewsonic.com/ru/</a>	España	<a href="http://www.viewsonic.com/es/">www.viewsonic.com/es/</a>
Türkiye	<a href="http://www.viewsonic.com/tr/">www.viewsonic.com/tr/</a>	Україна	<a href="http://www.viewsonic.com/ua/">www.viewsonic.com/ua/</a>
英国	<a href="http://www.viewsonic.com/uk/">www.viewsonic.com/uk/</a>		

## **限定保証**

### ViewSonic® プロジェクター

#### **保証範囲：**

ViewSonic は保証期間内において、通常の使用の下で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、ViewSonic の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。

#### **3 年間の一般保証**

以下に、1 年保証が設定されているものを示します。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは 3 年間、生産に関する故障は 3 年間、最初のランプで最初の購入日から 1 年間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

#### **重用における 1 年保証：**

本機を日常的に 1 日平均 14 時間以上重用する場合。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは 1 年間、生産に関する故障は 1 年間、最初のランプで最初の購入日から 90 日間。ヨーロッパ：ランプを除く全パーツは 1 年間、生産に関する故障は 1 年間、最初のランプで最初の購入日から 90 日間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

ランプの保証は、諸条件、検証および承認の対象となります。メーカーが取り付けしたランプに限ります。別途購入された全アクセサリランプの保証期間は 90 日間です。

#### **保証対象者：**

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

### **保証対象外：**

1. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。
2. 破損、劣化、故障の原因：
  - a. 事故、乱用、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、不適切なメンテナンス、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
  - b. 製品仕様外の操作。
  - c. 常識外での製品使用や異常な状態での使用。
  - d. ViewSonic が認めない人物による補修または補修の試み。
  - e. 出荷時の不具合。
  - f. 製品の撤去または設置。
  - g. 電力サージや停電などの外部からの原因。
  - h. ViewSonic の仕様に合わない部品の使用。
  - i. 通常の摩耗、消耗。
  - j. 製品の欠陥に関係しない原因。
3. 撤去、設置、設置サービス費。

### **補修を受けるには：**

1. 保証範囲内において補修サービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサービスにお問合せください (カスタマーサービス ページをご覧ください)。製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 購入日、(b) お客様のお名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号が必要です。
3. 製品を元の梱包材料に入れて、元払いで ViewSonic サービスセンターまで送りください。
4. 詳しい情報や、お近くの ViewSonic サービスセンターの名称については、ViewSonic 社までお問合せください。

### **黙示的保証の制限：**

商用性または特定目的への適合性に対する黙示的保証を含め、ここに含まれない明示的または黙示的保証は一切行いません。

### **故障の除外：**

ViewSonic の責任範囲は、製品の補修または交換を上限とします。ViewSonic の責任の除外：

1. このようなダメージの可能性が知らされていたとしても、本製品の欠陥により生じた他の所有物へのダメージ、不便性によるダメージ、使用の損失、利益の損失、商的机会の損失、のれんの減損、ビジネスパートナーとの関係性への干渉、その他の商的損失。
2. 偶発的、派生的に生じた故障。
3. 第三者からのお客様に対する苦情。

### **現地法の有効性：**

この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。一部の行政は示唆的保証の制限、偶発的または派生的ダメージの例外を認めない場合があります。その場合は、上記の制限や例外は適用されません。

### **米国およびカナダ以外での販売：**

米国およびカナダ以外の国で販売された ViewSonic 製品に関する保証やサービスについては、ViewSonic またはお近くの販売店へお問合せください。

中国本土（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品の保証期間は、メンテナンス保証カードに記載されている条件に基づきます。

ヨーロッパおよびロシアのお客様については、保証内容はホームページでご覧いただけます ([www.viewsoniceurope.com](http://www.viewsoniceurope.com) under Support/Warranty Information)。



**ViewSonic®**